

国立国語研究所学術情報リポジトリ

Remarks on an accent change in progress in the
Tokyo dialect

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 相澤, 正夫, AIZAWA, Masao メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001129

進行中のアクセント変化
— 東京語の複合動詞の場合 —

相澤 正夫

要旨：東京語の複合動詞(動詞+動詞タイプ)のアクセントについて、従来指摘されてきた規則性がしだいに失われていく過程、すなわち現在進行中のアクセント変化の実態とそこに関与している諸要因を、大量の調査資料によって明らかにする。具体的には、『東京語アクセント資料 上・下』から採集した、前部成素が起伏式動詞である複合動詞 888 語について、それらが旧来の規則通りに平板式アクセントを保持しているのか、それともすでに起伏式に変化しているのかを問題とする。特に、語の長さという要因がこの変化に重要な意味をもち、拍数の多い長い複合動詞ほど変化が先に進んでいることを、集団と個人の両面から実証する。

キーワード：東京アクセント、アクセント規則、アクセント変化、複合動詞、起伏式動詞、平板式動詞、『東京語アクセント資料 上・下』

Abstract : This paper presents the results of a quantitative analysis that makes clear the process of an accent change in progress in the Tokyo dialect. Here, I concentrate upon the problem of an accentuation rule which assigns the accents of compound verbs (verb+verb type) in a very simple way (rule A).

I If the first component of a compound verb is unaccented, the compound verb itself is accented.

II If the first component of a compound verb is accented, the compound verb itself is unaccented.

In recent decades, this rule, once so strictly observed as to have almost no exceptions, appears to have undergone a change that may bring about further simplification of the rule. The new rule can be tentatively described as follows (rule B).

III Regardless of the accent of the first component, the compound verb itself is accented.

In the present study I turn my attention to the course of the change in which rule A-II mentioned above is gradually losing its power and merging with rule A-I. I also examine some linguistic factors (e.g. word length) and some extralinguistic factors (e.g. age, sex) that are supposed to play important roles in this accent change. The data were obtained from "A Dictionary of Tone-accent on Words in the Tokyo Dialect I, II."

Key words : accent in the Tokyo dialect, accentuation rule, accent change, compound verb, accented verb, unaccented verb, "A Dictionary of Tone-accent on Words in the Tokyo Dialect I, II"

1. はじめに

東京語の複合動詞アクセントがどのようにして決まるかについては、そこに一定の規則性の存在することが指摘されてすでに久しい。^{注1)} 現在でも、例えば『明解日本語アクセント辞典(第2版)』(『明解ア』と略称)巻末の「アクセント習得法則45」を見ると、動詞+動詞タイプの結合動詞のアクセントは、「前部動詞のアクセントによって決定される。規則的。連濁しない。」とあり、その内容が次のようにまとめられている。^{注2)}

I 前部が平板式動詞—原則として中高型。

(1) 平板式+平板式

キカエル(着替える) キオワル(着終る)
ナキヤム(泣き止む) カイアゲル(買い上げる)
カタリアカス(語り明かす)

(2) 平板式+起伏式

ナキダス(泣き出す) キコム(着込む)
カイナオス(買い直す) ネナオス(寝直す)

II 前部が起伏式動詞—原則として平板型。但し、若い層の人人は中高型に発音する傾向が強い。(下線筆者)

(1) 起伏式+平板式

カキヤム(書き止む) ミオワル(見終る)
ヨミアゲル(読み上げる) トリカエル(取り替える)
ウゴキハジメル(動き始める)

新しくは

カキヤム ミオワル ヨミアゲル ウゴキハジメル

(2) 起伏式+起伏式

カキダス(書き出す) ミコム(見込む)
ヨミナオス(読み直す) デナオス(出直す)
ツクリタテル(作り立てる)

新しくは

カキダ'ス ミコ'ム ヨミナオ'ス デナオ'ス

ここに示された規則性を、アクセントの式のレベルで捉え直せば、要するに「複合動詞全体のアクセントの式は、前部成素となる動詞の式と反対である」ということになる。^{注3)}

この規則自体かなり単純なものであるが、『明解ア』に注記されている新しいアクセント傾向からも窺えるように(前ページ下線部)、若い層ではさらに規則の単純化が進んでいるようである。すなわち、前部成素のアクセントには関わりなく、単に「複合動詞のアクセントの式は、起伏式である」といえるような状態への移行が示唆されている。^{注4)}これを図式化して示せば、次のようになろう。

旧世代 (規則 A)			新世代 (規則 B)	
[前部成素]	[複合動詞]		[前部成素]	[複合動詞]
I 平板式	→ 起伏式	⇨	I 平板式	↘ 起伏式
II 起伏式	→ 平板式		II 起伏式	↗

東京語の複合動詞アクセントにおいては、現在、次のような二つの局面から捉えられる変化が進行中であるとみられる。

(1) 旧世代の規則として生きていた「規則 A」が衰退していく。

(2) 新世代の規則として想定される「規則 B」が支配的になっていく。

(1)に示した「規則 A」の衰退は、でたらめな混乱によるものとは考えにくい。むしろ、上に図式化したように、下位規則の「I」をそのままに保持しながら、もう一方の「II」のみを変化させて、結果として「規則 B」のようなより単純な形に収束していく、という大きな変化の流れの中にあると推定される。すなわち、この進行中のアクセント変化を捉えるポイントは、「前部成素に起伏式動詞をもつ複合動詞が、規則 A によって期待される平板式アク

セントから、規則 B に支配された起伏式アクセントに移行していく過程」の中にあると言ってよい。(1)「規則 A」の衰退過程は、平板式アクセントの減少傾向として、また、それと裏返しの関係にある(2)「規則 B」の支配化過程は、起伏式アクセントの増加傾向として捉えることができよう。^{注5)}

本稿では、このような複合動詞アクセントの移行過程を中心に据えて、現在進行中のアクセント変化の実態、およびそこに関与している諸要因を、大量の調査データにもとづいて明らかにしたい。分析の対象とするデータは、『東京語アクセント資料 上・下』(1985) (『東京ア』と略称) から採集する。

2. 分析対象とするデータの収集

2.1. 『東京語アクセント資料』

『東京ア』のもとになった調査の概要、その基本的性格などについては、『東京ア』のまえがき、馬瀬良雄・佐藤亮一 (1989)、佐藤亮一 (1990) に詳しいのでそちらに譲るとして、ここでは本稿の論述にとって重要と思われる『東京ア』の特徴 4 点について簡単に触れておく。

- (1) 現代東京語でアクセントのゆれが予想される 12,803 語を収録。
- (2) 年齢差、地域差 (山の手と下町)、男女差を考慮して選定した 19 名のインフォーマントについて、個人別に情報を記載。インフォーマントの属性は次のとおり。ローマ字がインフォーマントを表し、大文字で男性、小文字で女性を示す。「山」と「下」で、山の手出身、下町出身の別を表す。二桁の数字は、西暦で生年の下二桁である。なお、調査は 1982 年から 1984 年にかけて実施された。

A 下 62, b 山 59, C 下 58, d 山 58, E 下 53, F 下 50, g 下 47,
H 山 43, i 下 43, J 山 39, K 下 39, l 山 35, m 山 35, N 山 30,
o 山 30, P 下 29, q 山 29, r 山 20, s 山 11

- (3) 既刊の辞書 4 種に記載されているアクセント型と対照。4 種の辞書

とその略称は、次のとおり。

『新明解』：『新明解国語辞典』（第3版）

『NHK』：『日本語発音アクセント辞典』

『明解ア』：『明解日本語アクセント辞典』（第2版）

『全国ア』：『全国アクセント辞典』

- (4) 準備段階でアクセントをチェックした2名のアクセントを併載。2名の属性は次のとおり。

X山55, y下20

なお、(3)(4)の情報は、語によっては欠けているものがある。

(2)～(4)の情報は、『東京ア』の本体では、次のような配列で提示されている。また、アクセントの型は、『新明解』に準拠して数字で示されている。本稿でも、アクセント情報を提示する際は、原則としてこの配列順に従うことにする。

新	N	明	全	X	y	A	b	C	d	E	F	g	H	i	J	K	l	m	N	o	P	q	r	s
明	H	解	国	山	下	下	山	下	山	下	山	下	山	下	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
解	K	ア	ア	5520		62595858535047434339393535303029292011																		

2.2. 『東京ア』からの複合動詞の採集

複合動詞の採集方針として、次のような基準を立てた。

- (1) 動詞+動詞タイプの複合動詞に限る。したがって、「ぶら下がる、遠退く、値切る」などは除外する。
- (2) 前部成素、後部成素とも、和語動詞に限る。また、「～する」型動詞は全て除外する。
- (3) 前部成素、後部成素とも、単独で動詞として用いるものに限る。したがって、「降り頻る、誉めそやす、見初める、見蕩れる」などは除外する。また、「かっ切る、搔っ払う、吹っ掛ける、ぶっ倒れる」など音便形やそれに類する形を含むものも一応除外する。

- (4) 連体形のアクセントを採用する。^{注6)}
- (5) 19人全員のアクセント情報が、もれなく揃っているものに限る。調査漏れなどの理由により一人でも情報が欠けていれば、除外する。
- (6) 19人全員のアクセントが、アクセント的に一単位と認められるものに限る。したがって、「オモイ・サダメル」(思い定める)のように、アクセント的に二単位でしか言わない人が一人でもいれば、除外する。
- (7) 19人全員のアクセントが、前部成素に核をもたないものに限る。したがって、「タタキ・ツケル」(叩き付ける)のように、前部成素に核をもつ形でしか言わない人が一人でもいれば、除外する。

ここで、(3)は、前・後部成素となる個々の動詞のアクセントの式を知るために必要な条件である。(5)~(7)は、計量的・統計的な処理をするために、19人全員のデータの性質を一律に揃えておく必要があることによる。

上のような方針で採集した結果、総数1,019語の複合動詞が得られた。これを前部成素の式によって分類すると、次のようになる。なお、前・後部成素の式の決定は、上述の4種のアクセント辞典の情報によった。

- I 前部成素が平板式 → 111語
- II 前部成素が起伏式 → 888語
- III 前部成素が平板式・起伏式 → 20語

本稿では、第3章において、IIの前部成素が起伏式である複合動詞888語を対象にして、そのアクセントが平板式を保持する形で現れるのか(「規則A」の保持)、それとも起伏式に変化した形で現れるのか(「規則B」への移行)、言語内的要因、言語外的要因の両面から分析を試みる。言語内的要因としては、複合動詞の長さ(=連用形の拍数)、前・後部成素の拍数の組合せなどを、言語外的要因としては、インフォーマントの個人差、社会的属性差などを考慮する。

3. 起伏式動詞を前部成素とする複合動詞のアクセント

3.1. 全体の傾向の概観

2.2.で述べた方法によって採集された、前部成素が起伏式である複合動詞888語について、まず、平板式の保持という観点を中心に、その実態を概観する。本稿の末尾の別表に全体のリストを一覧表の形で掲げる。

表の見方について、次に箇条書きにして述べる。

- (1) 左ページは、一語（あるいは一用法）について、情報を左から順に次のように配列する。
 - (a) 通し番号。
 - (b) 語形。
 - (c) 表記。
 - (d) 前部成素（連用形）。
 - (e) 後部成素（連用形）。
 - (f) 前部成素の拍数。
 - (g) 後部成素の拍数。
 - (h) 複合動詞（連用形）の拍数。
 - (i) 後部成素のアクセントの式。
 - (j) 4種の辞書におけるアクセント。『新明解』『NHK』『明解ア』『全国ア』の順。
- (2) 右ページは、左ページに対応して、情報を左から順に次のように配列する。
 - (k) 通し番号。（=a）
 - (l) Xとyのアクセント。
 - (m) A（若）からs（高）までの19名のアクセント。
 - (n) 19名のうち平板式で発音する人の合計。
 - (o) 19名のうち起伏式で発音する人の合計。
- (3) (j) (l) (m)のアクセントは、式のレベルの区別を表示する。
- (4) 式の区別は、●=起伏式、○=平板式、◎=起伏式・平板式の併用

の3種の記号で表す。

(5) 縦方向の配列は、(a)=(k)の通し番号の若い方から順に、次のようなルールを(i)~(n)の順序でかけていった結果である。

(i) まず、(n)の平板式で発音する人の合計が多い順に配列。

(o) (i)で同点のとき、(o)の起伏式で発音する人の合計が少ない順に配列。

(v) (o)で同点のとき、(h)の複合動詞の拍数が少ない順に配列。

(n) (v)で同点のとき、(b)の語形の五十音順に配列。

したがって、概略、通し番号の若い複合動詞の方が、比較的平板式がよく保持され、起伏式化が進んでいないことになる。また、式の区別を表す記号の分布模様としては、上位の語ほど○の記号が多いことから、全体として白っぽい印象を与え、下位にいくほど黒っぽくなっていくことになる。

概観して分かるように、19人全員が揃って平板式を保持している語から、次第に保持する人数が減少していき、やがて一人も保持していない語に至るという連続的な分布を示している。保持者数の分布の偏りを見るために、平板式を保持している人数を横軸にとり、それぞれに属する語数の累積を縦軸にとってグラフ化したのが、**図1**である。

また、平板式の保持とは裏返しの関係にある起伏式の出現について、**図1**と同様に、起伏式をもつ人数を横軸にとり、それぞれに属する語数の累積を縦軸にとってグラフ化したのが、**図2**である。

図1、**図2**のグラフの山の位置を比較してみよう。平板式の保持では、ゆるやかながら一応はっきりとした右寄りの分布がみられるのに対して、起伏式の出現では、むしろ急激な左上がりのカーブを描く左寄りの分布がみられる。この対比は、平板式の保持がすでにかかなりの落ち込みを見せている一方で、起伏式化が急激に進行していることを窺わせる。

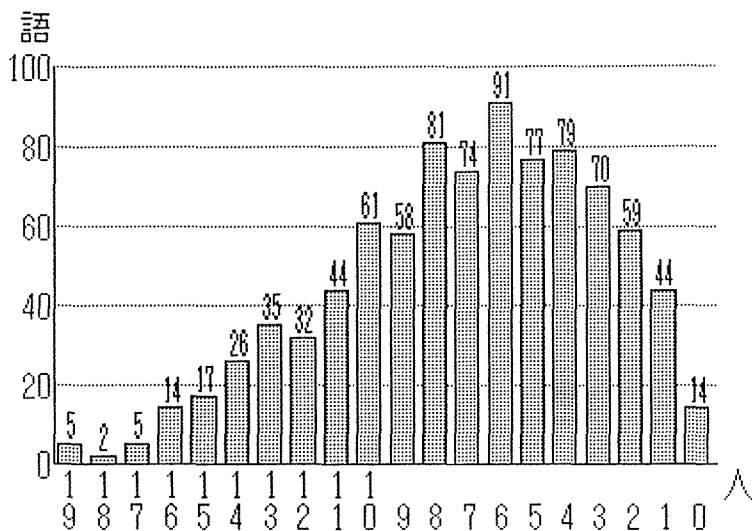


図1 平板式アクセントの保持 (全体)

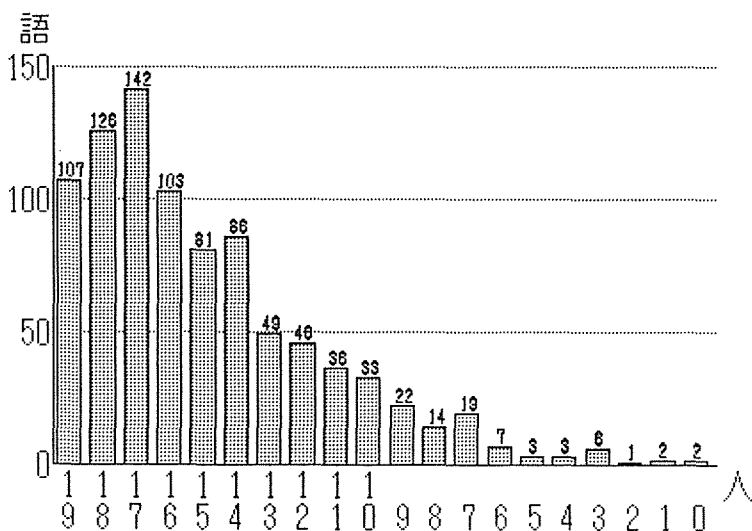


図2 起伏式アクセントの出現 (全体)

試みに、全体（19人×888語）の平板式保持率と起伏式化率を、次のような計算式で求めることにする。

$$\begin{aligned} \text{平板式保持率} &= \text{平板式の全出現度数} / \text{全体の度数} \\ &= (\bigcirc + \odot) / (\bigcirc + \odot + \bullet) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{起伏式化率} &= \text{起伏式の全出現度数} / \text{全体の度数} \\ &= (\bullet + \odot) / (\bigcirc + \odot + \bullet) \end{aligned}$$

結果は、平板式保持率が37.3%（6,271/16,872）、起伏式化率が78.4%（13,231/16,872）である。一つの目安として、これを全19人のうちの何人という形に置き換えて示せば、平板式が全19人のうち半数以下の約7人にしか保持されていないのに対して、起伏式への変化はすでに約15人にまで及んでいることになる。

3.2. 拍数別の比較

3.1.で概観した全体の傾向をうけて、ここでは複合動詞の長さ（＝連用形の拍数）の違いによって、平板式保持および起伏式化の傾向にどのような違いがみられるかを調べる。

総計888語の拍数別の内訳は、次の通りである。

3拍＝34語，4拍＝381語，5拍＝402語，6拍＝66語，7拍＝5語

7拍語はサンプル数が少ないので除外し、3拍語から6拍語までについて比較することにする。まず、拍数別の平板式保持率と起伏式化率を、3.1.の全体の場合と同様の計算式で求めておく。

	3拍語	4拍語	5拍語	6拍語
平板式保持率	50.9%	> 47.4%	> 29.3%	> 22.5%
起伏式化率	59.3%	< 71.1%	< 85.0%	< 89.5%

これをグラフ化したのが図3である。拍数が増えるにつれて、平板式保持

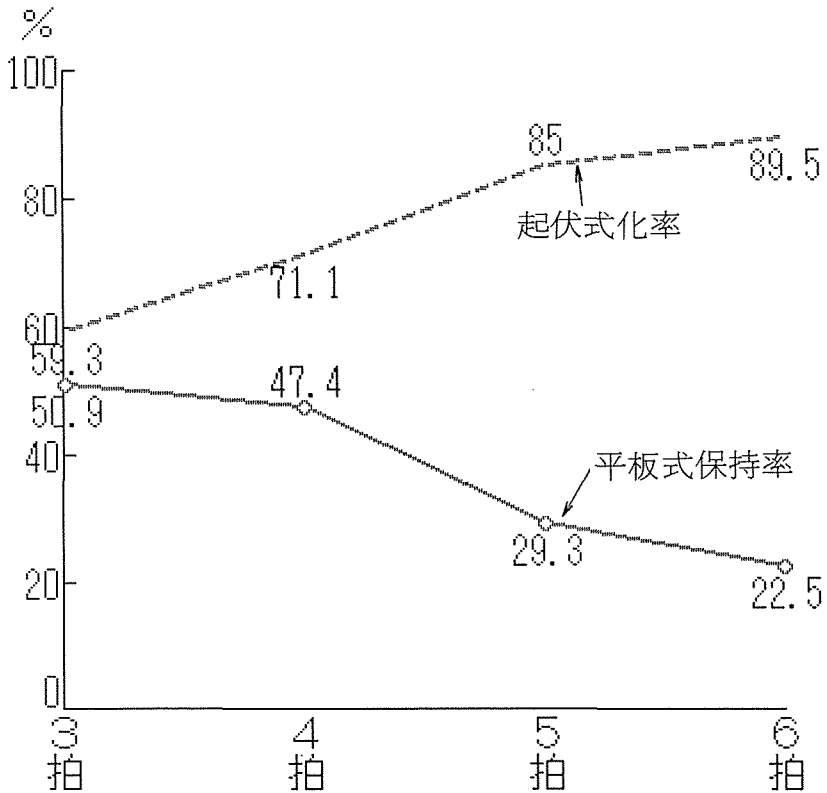


図3 拍数別の平板式保持率と起伏式化率の比較

率が下がり、反対に起伏式化率が上がっていることが分かる。また、全ての拍数において、すでに起伏式化率が平板式保持率を上回っていることも明らかである。

拍数ごとの実態をさらに詳しく見るために、19人のうち何人が平板式を保持しているのかについて五つの区間に分け、それぞれの区間に属する語数の百分率を、3拍語から6拍語までの間で対比させ、全体の百分率を添えて示したのが図4である。また、平板式の保持とは裏返しの関係にある起伏式の出

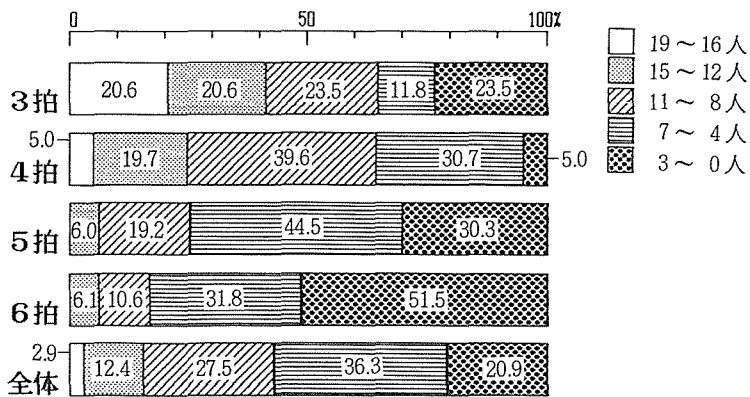


図4 拍数別の平板式アクセントの保持

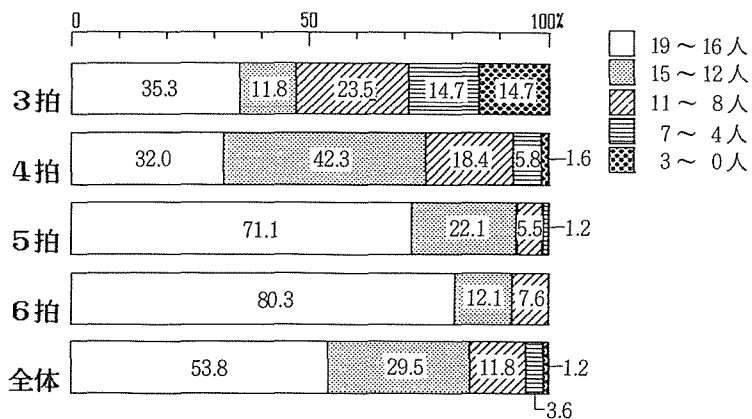


図5 拍数別の起伏式アクセントの出現

現について、同じ方法で処理し、やはり3拍語から6拍語までの間で対比させ、全体の百分率を添えて示したのが図5である。

平板式の保持についてみると、19～16人の区間で、3拍語は20.6%、4拍語は5%であるが、5拍語と6拍語はすでにゼロ%になっている。15～12人の区間を足して比較しても、3拍語の41.2%、4拍語の24.7%に対して、5拍語は6%、6拍語は6.1%であり、保持率の比較的高い区間では、拍数の少ない3拍語と4拍語における保持が目につく。一方、保持率の低い区間について、3～0人の区間と7～4人の区間の和でみると、3拍語の35.3%、4拍語の35.7%に対して、5拍語は74.8%、6拍語は83.3%であり、拍数の多い5拍語と6拍語の保持の低さが目立つ。但し、3拍語は、3～0人の区間の割合が23.5%と（4拍語の5%からみて）予想以上に高いという、変則的な傾向を見せている。

一方、起伏式の出現についてみると、19～16人の区間で、拍数の多い方は6拍語が80.3%、5拍語が71.1%とかなり高率であるが、拍数の少ない方は4拍語が32%、3拍語が35.3%と大きな開きがある。次の15～12人の区間まで足すと、6拍語の92.4%、5拍語の93.2%に対して、4拍語は74.3%とかなり伸びてくるが、3拍語は47.1%と依然5割に満たない。また、ここでも3拍語は、19～16人の区間の割合が35.3%と（4拍語の32%からみて）予想以上に高く、変則的な傾向を見せている。

以上から、『東京ア』の3拍～6拍の複合動詞についてみる限り、「語の長さが長いものほど平板式アクセントの保持率が低く、反対に起伏式アクセントの出現率が高い」という傾向が確認できる。また、細かくみると、3拍語がこの傾向に関してやや変則的な振舞いをすることも分かる。

次に、具体例として、「ダシ(出し)」（起伏式）を共通の後部成素とする複合動詞(42語)の一覧表を表1として掲げる。また、「マワリ(回り)」「マワシ(回し)」（いずれも平板式）をそれぞれ共通の後部成素とする複合動詞(10語、12語)の一覧表を表2、表3として掲げる。配列順は、本稿末尾の別表の場合と同じ基準による。

どの表においても、前部成素の拍数が少ない語ほど比較的上位に、多い語ほど下位に現れるという傾向が確認できる。他の条件が同じならば、拍数の多い長い語の方が、拍数の少ない短い語に比べて変化が進行していることを示していると言えよう。

表 1

	語形	表記	前部成素	後部成素	後部	新	N	明	全
1	ニゲダス	逃げ出す	ニゲ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
2	カケダス	駆け出す	カケ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
3	シメダス	締め出す	シメ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
4	ウケダス	請け出す	ウケ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
5	ナゲダス	投げ出す	ナゲ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
6	ハキダス	吐き出す	ハキ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
7	モチダス	持ち出す	モチ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
8	トリダス	取り出す	トリ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
9	カキダス	掻き出す	カキ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
10	サシダス	差し出す	サシ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
11	ハキダス	掃き出す	ハキ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
12	ウチダス	打ち出す	ウチ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
13	カキダス	書き出す	カキ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
14	キリダス	切り出す	キリ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
15	クリダス	繰り出す	クリ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
16	セリダス	迫り出す	セリ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
17	コギダス	漕ぎ出す	コギ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
18	アミダス	編み出す	アミ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
19	フキダス	噴き出す <small>(水が)</small>	フキ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
20	ハイダス	這い出す	ハイ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
21	オモイダス	思い出す	オモイ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
22	ツクリダス	作り出す	ツクリ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
23	ハジキダス	弾き出す	ハジキ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
24	カツギダス	担ぎ出す	カツギ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
25	カモシダス	醸し出す	カモシ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
26	フリダス	降り出す	フリ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
27	ホリダス	掘り出す	ホリ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
28	フキダス	噴き出す <small>(ふくと)</small>	フキ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
29	ヒネリダス	捻り出す	ヒネリ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
30	カンガエダス	考え出す	カンガエ	ダシ	4	2	6	起	○ ○ ○ ○
31	タスケダス	助け出す	タスケ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
32	エガキダス	描き出す	エガキ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
33	サワギダス	騒ぎ出す	サワギ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
34	ウゴキダス	動き出す	ウゴキ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
35	エラビダス	選り出す	エラビ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
36	スベリダス	滑り出す	スベリ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
37	ナガレダス	流れ出す	ナガレ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
38	ハミダス	食み出す	ハミ	ダシ	2	2	4	起	○ ○ ○ ○
39	シボリダス	絞り出す	シボリ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
40	イビリダス	いびり出す	イビリ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
41	タタキダス	叩き出す	タタキ	ダシ	3	2	5	起	○ ○ ○ ○
42	ヒッバリダス	引っ張り出す	ヒッバリ	ダシ	4	2	6	起	○ ○ ○ ○

表 2

	語形	表記	前部成素	後部成素		後部	新	N	明	全
1	デマワル	出回る	デ	マワリ	1 3 4	平	○	◎	◎	◎
2	タチマワル	立ち回る	タチ	マワリ	2 3 5	平	○	○	◎	◎
3	ミマワル	見回る	ミ	マワリ	1 3 4	平	○	○	◎	◎
4	カケマワル	駆け回る	カケ	マワリ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
5	ニゲマワル	逃げ回る	ニゲ	マワリ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
6	ハネマワル	跳ね回る	ハネ	マワリ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
7	ハイマワル	這い回る	ハイ	マワリ	2 3 5	平		◎	◎	◎
8	オヨギマワル	泳ぎ回る	オヨギ	マワリ	3 3 6	平		◎	◎	◎
9	ハシリマワル	走り回る	ハシリ	マワリ	3 3 6	平	◎	◎	◎	◎
10	タズネマワル	尋ね回る	タズネ	マワリ	3 3 6	平		◎		◎

表 3

	語形	表記	前部成素	後部成素		後部	新	N	明	全
1	カキマワス	掻き回す	カキ	マワシ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
2	ミマワス	見回す	ミ	マワシ	1 3 4	平	○	◎	◎	◎
3	サシマワス	差し回す	サシ	マワシ	2 3 5	平	○	○		
4	ツケマワス	付け回す	ツケ	マワシ	2 3 5	平	○	○	◎	◎
5	コネマワス	捏ね回す	コネ	マワシ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
6	キリマワス	切り回す	キリ	マワシ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
7	クリマワス	繰り回す	クリ	マワシ	2 3 5	平	○		◎	◎
8	トリマワス	取り回す	トリ	マワシ	2 3 5	平	○	◎		
9	ナデマワス	撫で回す	ナデ	マワシ	2 3 5	平		◎		◎
10	ノミマワス	飲み回す	ノミ	マワシ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
11	ヒネリマワス	ひねり回す	ヒネリ	マワシ	3 3 6	平	◎	◎	◎	◎
12	ヒッパリマワス	引っ張り回す	ヒッパリ	マワシ	4 3 7	平		◎	◎	◎

:X:y:A:b:C:d:E:F:g:H:i:J:K:l:m:N:o:P:q:r:s:平:起:

1	○	○	○	◎	○	◎	○	○	◎	●	○	●	○	○	○	○	○	◎	○	16	7
2	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	14	10
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	9
4	○	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	10
5	○	●	●	◎	●	●	◎	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	10	13
6	●	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	6	19
7			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	2	19
8			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	18
9	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	18
10			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	1	19

:X:y:A:b:C:d:E:F:g:H:i:J:K:l:m:N:o:P:q:r:s:平:起:

1	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	15	7
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	6
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	12
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	12
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	12
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	13
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	15
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	14
9			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	14
10			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	16
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	17
12			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	18

3.3.前・後部成素の拍数の組合せによる比較

3.2.では拍数別に違いをみたが、複合動詞の場合は、同じ拍数でもさらに前・後部成素の拍数の組合せ方に幾種類かある(n拍語に(n-1)種類)。ここではこの違いに注目して、平板式保持の傾向にどのような違いがみられるかを調べる。

拍数別の組合せの種類と、今回のデータ(総計888語)における所属語数を次に示す。括弧内が所属語数、(-)はデータ無しを表す。

3拍 1+2(32) 2+1(2)
4拍 1+3(54) 2+2(322) 3+1(5)
5拍 1+4(7) 2+3(277) 3+2(118) 4+1(-)
6拍 1+5(-) 2+4(21) 3+3(40) 4+2(5) 5+1(-)
7拍 1+6(-) 2+5(-) 3+4(2) 4+3(3) 5+2(-) 6+1(-)

語数の分布が大きく偏っているという欠陥はあるが、ここでは一応4拍、5拍、6拍をとりあげてみる。3.2.と同様に平板式を保持する人数を五つの区間に分け、それぞれに属する語数の百分率を出して、組合せの種類の間で比較することにする。4拍語、5拍語、6拍語のそれぞれについてグラフ化したのが、図6、図7、図8である。

図6、図7、図8を通覧してまず気付くことは、いずれにも共通して、後部成素の拍数が小さくなる(あるいは反対に前部成素の拍数が大きくなる)と、平板式の保持率が落ちていく傾向がみられることである。サンプル数の少ない4拍語の「3+1」、5拍語の「1+4」、6拍語の「4+2」を含めての観察なので断定的に言うことはできないが、この傾向は無視できないと思われる。すなわち、「全体の長さが同じであれば、前部成素に比べて後部成素の長い複合動詞ほど平板式が保持されやすい。」という傾向が指摘できそうである。十分なサンプル数をもつ5拍語の「2+3」と「3+2」との対比においては、その典型的な姿を捉えることができよう。(図7参照)

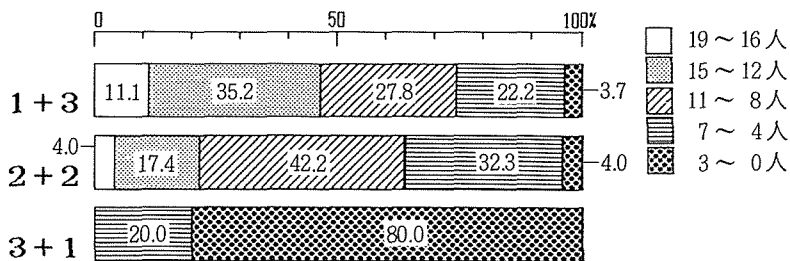


図6 4拍語

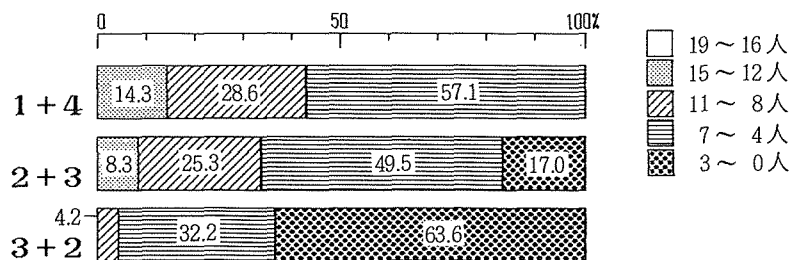


図7 5拍語

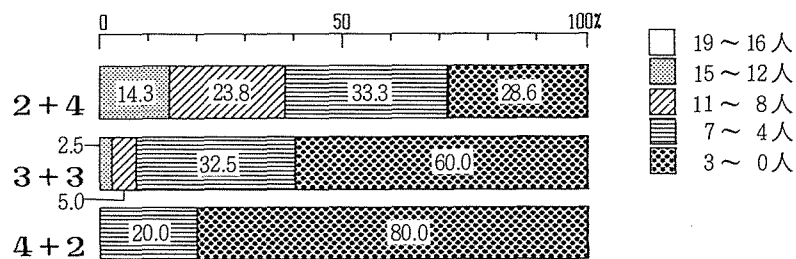


図8 6拍語

3.4. インフォーマント間の比較

前節までは19人のインフォーマントの個別性には一切触れることなく、東京語の複合動詞アクセントを一つの全体として扱い、その変化傾向とそれに関与している言語内的要因を追ってきた。ここでは、むしろ個々のインフォーマントごとの違い、すなわち東京語アクセント内の多様性に積極的に注目する。

まず、19人それぞれの平板式保持率と起伏式化率を図9に示す。左側の棒グラフが平板式保持率、右側が起伏式化率である。計算は、インフォーマントごとに次の式によって行なった。

$$\text{平板式保持率} = (\bigcirc + \odot) / (\bigcirc + \odot + \bullet)$$

$$\text{起伏式化率} = (\bullet + \odot) / (\bigcirc + \odot + \bullet)$$

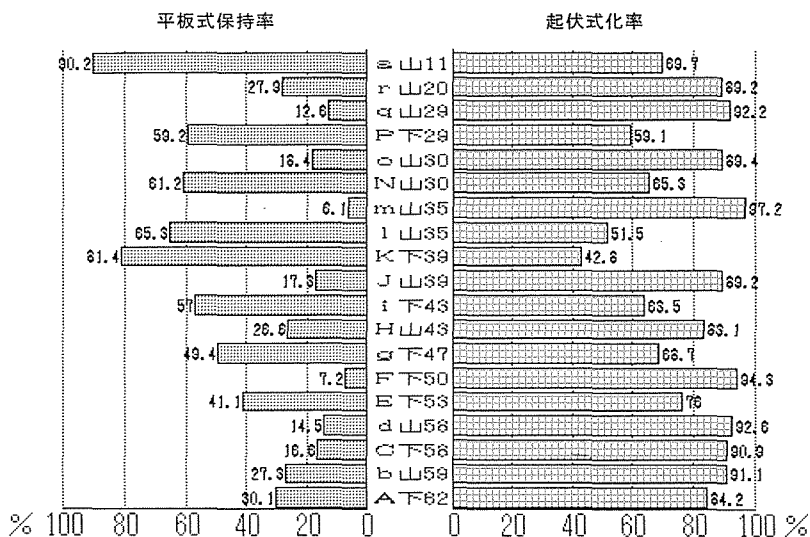


図9 インフォーマント別の平板式保持率と起伏式化率

平板式保持率をみると、インフォーマントによって非常に大きな差のあることが分かる。最高のs氏が90.2%ときわめて高率なのに対し、最低のm氏

はわずか6.1%にすぎない。全体の平均が37.3%であるから、それに最も近いのはE氏の41.1%(+3.8%)であるが、全般的に平均より逸脱した個人の多いのが目立つ。また、図9からは、明らかな年齢差は認められないが、高年層寄りに保持率の高い人が目立つようだ(s, P, N, l, Kの各氏)。一方、高年層寄りでもかなり低い保持率を示すr, q, o, mの各氏が、いずれも山の手出身の女性であることが注目される。

起伏式化率をみると、こちらは平板式保持率に比べてインフォーマントによる差がそれほど大きくはない。最高のm氏は97.2%ときわめて高率であるが、最低のK氏ですでに42.8%に達している。全体の平均が78.4%であるから、それに最も近いのはやはりE氏の76%(-2.4%)であるが、全般的に平均から大きく逸脱する個人は少ないようである。こちらもしっかりした年齢差は認めにくいだが、若年層寄りの方が比較的まとまって高い起伏式化率を示していると思われる。また、上で言及した高年層寄りの山の手出身の女性r, q, o, mの各氏が、ここでは揃って高い起伏式化率を示していることが分かる。この人たちは、『東京ア』のインフォーマント構成においては比較的高年層に位置づけられるものの、複合動詞アクセントに関してはいち早く変化を遂げようとしている、いわば新世代の先駆けと言えるかもしれない。

3.5. 拍数別にみたインフォーマント間の比較

ここでは、さらに3拍語から6拍語まで拍数別に分けてみたとき、個々のインフォーマントの平板式保持率と起伏式化率が、どのようなパターンで推移するかをグラフに描いて比較することにする。

まず、平板式保持率については、図10-aから図10-eまでの五つのパターンに大きく分類できる。各グループの特徴は次の通りである。^{注7)}

図10-a 右下がりの傾向はみられるが、全ての拍数において50%以上のかなり高い保持率を維持している。(K, l, s氏)

図10-b 右下がりの傾向は強いが、5拍、6拍でもほぼ20%以上の保持率を維持している。(E, g, i, N, P氏, 19人平均)

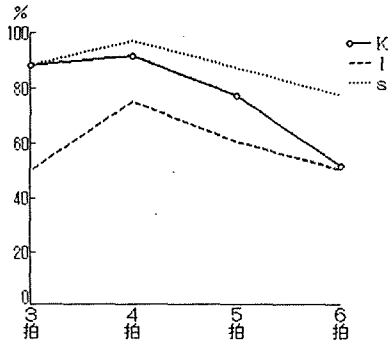


图 10-a

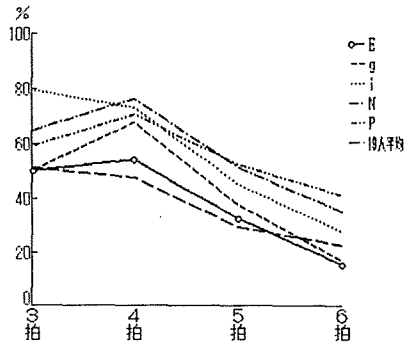


图 10-b

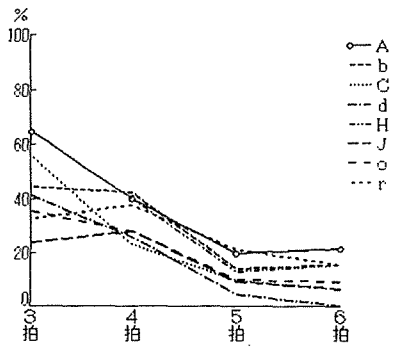


图 10-c

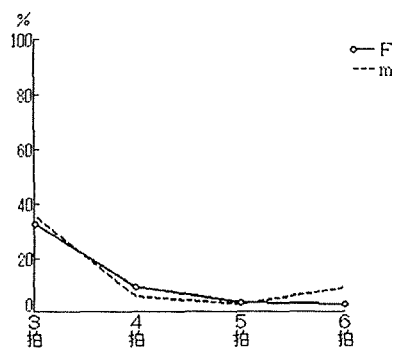


图 10-d

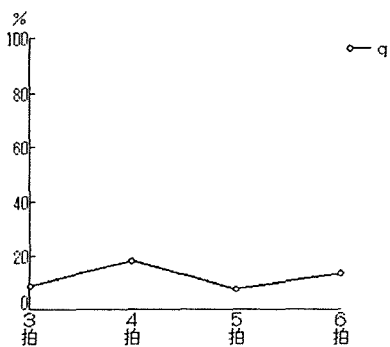


图 10-e

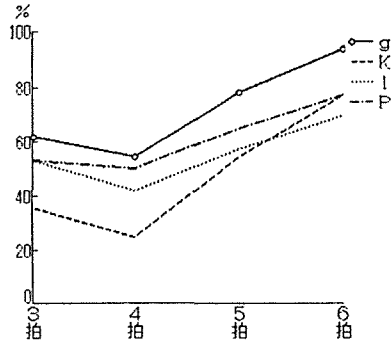


图 11-a

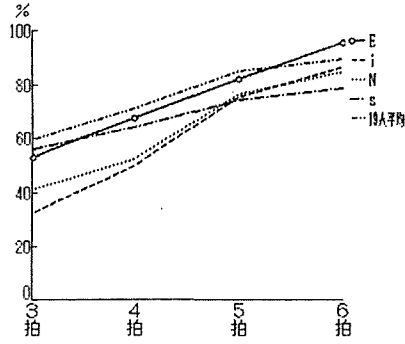


图 11-b

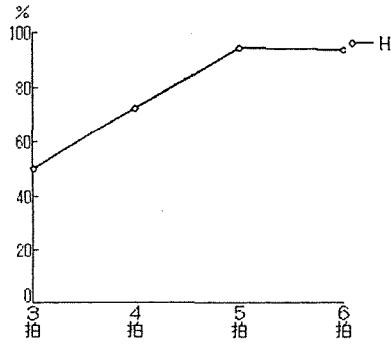


图 11-c

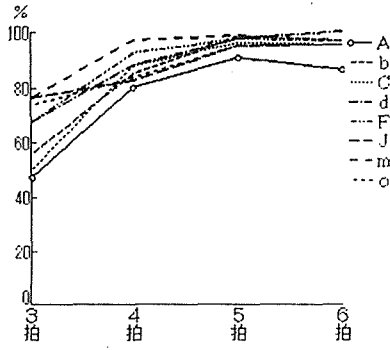


图 11-d

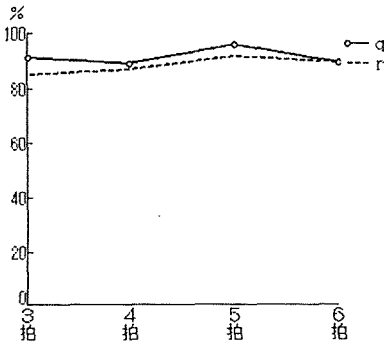


图 11-e

図 10-c 右下がりの傾向が 5 拍までみられ、5 拍、6 拍では 20%以下の保持率でほぼ横這いになっている。(A, b, C, d, H, J, o, r 氏)

図 10-d 右下がりの傾向が 4 拍までみられ、4 拍、5 拍、6 拍では 20%以下の保持率でほぼ横這いになっている。(F, m 氏)

図 10-e 全ての拍数において、20%以下の保持率でほぼ横這いになっている。(q 氏)

このように、平板式保持率は個人レベルにおいても、およそ図 10-a, -b, -c, -d, -e のように、拍数の多い語から順に徐々に低下していくものと推定される。変化の段階という観点から言えば、s 氏が最も古い段階を、q 氏が最も新しい段階を示していると言えよう。

次に、起伏式化率については、同じく図 11-a から図 11-e までの五つのパターンに大きく分類できる。各グループの特徴は次の通りである。

図 11-a 右上がりの傾向は強いが、3 拍から 4 拍にかけて一旦やや下降する。(g, K, l, P 氏)

図 11-b 右上がりの傾向が、3 拍から 6 拍まで比較的なだらかに続く。(E, i, N, s 氏, 19 人平均)

図 11-c 右上がりの傾向が 5 拍までみられ、5 拍、6 拍では 80%以上の起伏式化率でほぼ横這いになっている。(H 氏)

図 11-d 右上がりの傾向が 4 拍までみられ、4 拍、5 拍、6 拍では 80%以上の起伏式化率でほぼ横這いになっている。(A, b, C, d, F, J, m, o 氏)

図 11-e 全ての拍数において、80%以上の起伏式化率でほぼ横這いになっている。(q, r 氏)

このように、起伏式化率は個人のレベルにおいても、およそ図 11-a, -b, -c, -d, -e のように、拍数の多い語から順に徐々に上昇していくものと推定される。変化の段階という観点からは、おそらく K 氏が最も古い段階を、q 氏が最も新しい段階を示しているとみてよからう。

さて、以上のパターン分類をうけて、ここでは典型的と思われる個人に代表させながら、現在進行中のアクセント変化の過程全体を推定してみよう。図 12-a から図 12-f までが、その過程の各段階に位置する典型的なインフォーマントの、拍数別にみた平板式保持率と起伏式化率のグラフである。(実線が平板式保持率、破線が起伏式化率)

図 12-a 3 拍, 4 拍, 5 拍ではまだ平板式保持率が起伏式化率を上回っているが、6 拍ではわずかに逆転。(s 氏)

図 12-b 3 拍, 4 拍, 5 拍ではまだ平板式保持率が起伏式化率を上回っているが、6 拍では逆転。(K 氏)

図 12-c 3 拍, 4 拍ではまだ平板式保持率が起伏式化率を上回っているが、5 拍, 6 拍では逆転。(i 氏)

図 12-d 3 拍ではまだ平板式保持率が起伏式化率を上回っているが、4 拍, 5 拍, 6 拍では逆転。(H 氏)

図 12-e 全ての拍において逆転したが、3 拍だけが他に比べてやや遅れぎみ。(m 氏)

図 12-f 全ての拍において完全に逆転。(q 氏)

このように、平板式保持率と起伏式化率との逆転が、まず s 氏 (さらに K 氏) のように拍数の多い語から始まり、i 氏, H 氏, m 氏のような順で徐々に拍数の少ない語にも及んでゆき、やがて q 氏のように全ての語で完全に逆転が達成された段階に至る、という変化の過程を再構することができる。

また、ここからも、3.4. ですでに指摘した q 氏と m 氏が、今回のインフォーマント構成では比較的高年層に属しながら、複合動詞アクセントという点では進行中の変化の最先端に位置していることが、ほぼ確実に証明されたことになろう。すなわち、ここでは、年齢という要因の関与を抑えて、それ以上に山の手出身の女性 (しかも高学歴) という要因が強く働いているものと推定される。^{注 8)}

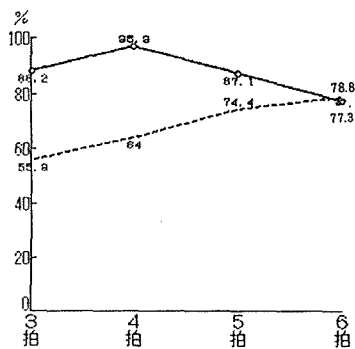


图 12-a s 氏 (山 11)

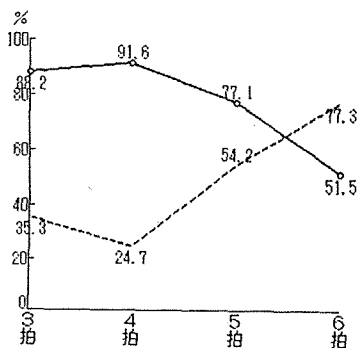


图 12-b K 氏 (下 39)

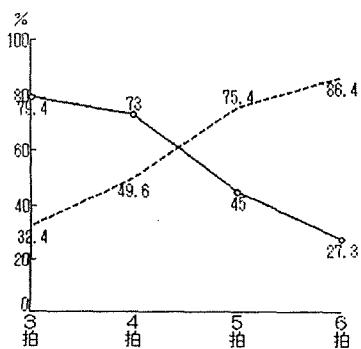


图 12-c i 氏 (下 43)

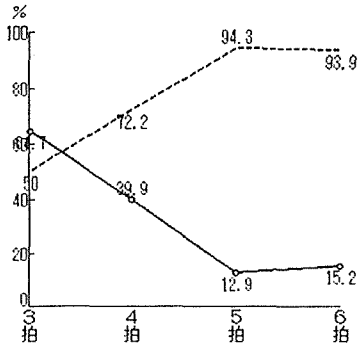


图 12-d H 氏 (山 43)

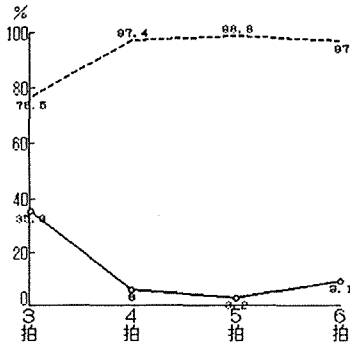


图 12-e m 氏 (山 35)

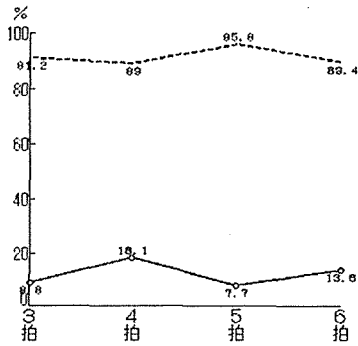


图 12-f q 氏 (山 29)

4. おわりに

本稿では、東京語の複合動詞アクセントをとりあげ、現在進行中のアクセント変化の実態を、『東京ア』から採集した大量のデータによって計量的・統計的に把握してきた。まず、この変化の遅速には、語の長さ（拍数）という要因が強く関与していることが明らかになった。次に、拍数別にインフォーマント間で比較するという方法によって、具体的な変化の進行過程を推定することができた。以下に、ここで得られた知見をまとめておく。

- (1) 起伏式動詞を前部成素とする複合動詞のアクセントは、旧世代の規則から導かれる平板式の保持率がすでにかかなりの落ち込みをみせ（全体の37.3%）、急激な起伏式化が進行している（全体の78.4%）。
- (2) 複合動詞の長さによって平板式保持率、及び起伏式化率に明らかな違いがある。すなわち、長い語ほど平板式保持率が低く起伏式化率が高いことから、この変化は長い語ほど先行しているとみられる。
- (3) 語の長さが同じであれば、前部成素に比べて後部成素の長いものほど平板式が保持されやすい傾向がある。
- (4) インフォーマントによって、平板式保持率には大きな較差があるが（最高のs氏90.2%、最低のm氏6.1%）、起伏式化率ではその差がやや小さくなっている（最高のm氏97.2%、最低のK氏42.8%）。
- (5) 平板式保持率、起伏式化率ともに、はっきりした年齢差は認められないが、平板式保持率の高い人は高年層寄りに目立ち、起伏式化率の高い人は若年層寄りの方に比較的まとまってみられる。
- (6) 個人のレベルでも、長い語ほど平板式保持率が低く起伏式化率が高いという傾向が一般的に観察され、この変化が長い語ほど先に進んでいることを裏づけている。
- (7) 『東京ア』のインフォーマント構成では比較的高年層に位置づけられる山の手出身の女性（r, q, o, mの各氏）が、ここではかなりアクセント変化の進んだ段階に到達している。

東京語の複合動詞アクセントでは、「語の長さ（拍数）」という要因が、進

行中のアクセント変化を正確に把握するうえで、きわめて重要なポイントとなっている。この調査では、拍数の多い長い語ほど変化が先に進んでいる様子を、集団と個人の両面から捉えることができた。

ところで、この傾向は確かに4拍以上の長い語については当てはまるが、3拍語には予想に反して特殊な振舞いをするものがある。複合動詞といえども3拍語の場合は、長さが短いことをはじめ、種々の点で単純動詞に匹敵するある種の個別性が認められるためかもしれない。長さの短い複合動詞については、さらに個別に詳しく検討する必要がある。また、この点も含めて、例えば野村雅昭・石井正彦(1987)に網羅された複合動詞(7,432語)を母集団として、今回のデータのサンプルとしての性格を検討しておくことも必要な作業であろう。

さて、『東京ア』のインフォーマント構成で高年層に位置づけられることが、必ずしもその人のアクセントの旧さを意味しないことは、前稿の相澤正夫(1991b)に続いて今回の調査でも明らかになった。ここでは、むしろ山の手出身の女性という要因が働いている可能性が高いことも分かった。前稿及び本稿で扱ったアクセント変化は、いずれも、何らかの規則性に支えられ成立していたアクセント現象からの新しい変化という点で共通している。このように、『東京ア』の中から個別的・語彙的なレベルを超えた一般性の高いアクセント現象をとりあげ、その変化の動向に関する事例研究をさらに積み重ね、相互に関連づけながら総合していくのが今後の課題である。

注

- 1) 古くは明治期の東京アクセントについて、山田美妙(1892)にこの規則性に関する記述があり(後に「山田の法則」として知られる式保存の逆転現象の指摘)、さらに昭和期に入って、三宅武郎(1934)が改めてこの規則性を確認している。
- 2) 『明解ア』では、本稿で扱う複合動詞が「結合動詞」の名称の下に分類されている。以下の記述は、例も含めて同書からの引用であるが、アクセント表記は「下げ核」の表示「¹」のみに改めた。なお、この引用と同旨の記述は、日本放送協会編『日本語発音アクセント辞典(改訂新版)』(1985)にも見える。
- 3) 『明解ア』には、「但し、強めの意をもつ結合動詞は、前部動詞のアクセントを生か

す傾向がある。」という注記があり、次のような例が挙げられている。

コキツカウ (扱き使う) オソレイル (恐れ入る)

カジリツク (噛り付く) タタキツケル (叩き付ける)

ヒキズリダス (引摺り出す) ヒツパリマフス (引張り回す)

本稿では、このような一群の動詞を一応考察の対象に含めないことにする。東京語の複合動詞アクセント全体の変遷という立場からは、改めてその位置づけを問題にする必要がある。

- 4) すでに川上葵 (1959) の中の複合動詞アクセントに触れた項の注に、「ただし最近では、複合動詞をすべて無差別に起伏式 (最後から二拍目が核) に発音する傾向がいちじるしい。」という記述が見える。
- 5) 東京語の複合動詞アクセントが、全体として起伏式化する傾向を強く示している点について、「同音語をなす動詞連用形と転成名詞のアクセントによる弁別」という機能アクセント論的な観点から一つの説明を試みたものに、相澤正夫 (1991 a) がある。本稿には、このような起伏式化傾向をまず実証しておこうという意図も込められている。ちなみに、複合動詞からの転成名詞のアクセントは例外なく平板式になる。また、単純動詞からの転成名詞のアクセントも長い語では平板式化の傾向がみられる。この点に関しては、相澤正夫 (1991 b) も合わせ参照。
- 6) 筆者は『東京ア』作成のための調査に調査員として参加したが、実際の調査では個々の動詞項目について、次のような二つの文をこの順に読んでもらうのが原則であった。
 - ① 「手を押える。」のような (多くの場合) ごく簡単な文脈付きの文。
 - ② 「押えるということは押えることだ。」のように、「～するということは～することだ。」という枠に動詞を挿入した文。ところが、最終的には①を省略した動詞もかなりあった。本稿では、このような事情から、②の文の後半の「～することだ」の部分に現れる動詞アクセントを採用した。連体形のアクセントというのはこのことをさす。但し、これによって、終止形の場合より平板式アクセントが出やすかったのではないかと、という問題はある。
- 7) 3拍語と4拍語の間に限ってみると、必ずしも右下がりのグラフにならないインフォーマントがいるが、ここでは無視してより大きな分類にしたがった。
- 8) 『東京ア』では、インフォーマントの学歴に関して、新制度履修者については、男性が大学学部卒業以上、女性が短期大学卒業以上、旧制度履修者については、男性が中学校卒業以上、女性が高等女学校卒業以上という基準を設けていた。問題の m 氏は短大卒、q 氏は大卒である。なお、この両氏は、相澤正夫 (1991 b) で扱った単純動詞からの転成名詞のアクセントに関しても、進行中の変化の先端の方に位置すると認められた人たちである。

参考文献 (著者名の五十音順)

- 相澤正夫 (1984) 「アクセント変化の要因」『日本語学』3-11
—— (1991 a) 「アクセントと日本語教育—機能アクセント論の試み—」『日本語学』10-2
—— (1991 b) 「生きているアクセント規則の検討—東京語の単純動詞とその転成名詞の場合—」『研究報告集12』(国立国語研究所報告103)
秋永一枝 (1957) 「アクセント推移の要因について」『国語学』31
川上 葵 (1959) 「標準アクセント習得の急所」『音声学会会報』100
菅野 謙・白田 弘・最上勝也・宗像朋子(1982) 「NHK アナウンサーのアクセント19年の変化」『NHK 放送文化研究年報』27
佐藤亮一 (1989) 「東京語音声分析の問題—単語アクセントを中心に—」『日本語学』8-3
—— (1990) 「現代東京語のアクセント—年齢差および辞典との差を中心に—」『国語論究 2 文字・音韻の研究』明治書院
野村雅昭・石井正彦 (1987) 『複合動詞資料集』(文部省科学研究費特定研究「言語情報処理の高度化に関する研究」の計画研究班「言語データの収集と処理の研究」資料集)
馬瀬良雄・佐藤亮一(1989) 「東京語アクセントの多様性」『講座日本語と日本語教育 2 日本語の音声・音韻(上)』明治書院
三宅武郎 (1934) 『音声口語法』(国語科学講座 VI 国語法) 明治書院
山田美妙 (1892) 「日本音調論」『日本大辞書』日本大辞書発行所 (1979 年名著普及会より覆刻版発行)

資料集・辞典類 (見出しは本稿での略称)

- 『東京ア』: 『東京語アクセント資料 上・下』(文部省科学研究費特定研究「言語の標準化」資料集) 柴田武監修, 馬瀬良雄・佐藤亮一編 (1985)
『新明解』: 『新明解国語辞典 第3版』(第1刷) 金田一京助ほか編 (1981) 三省堂
『NHK』: 『日本語発音アクセント辞典』(第15刷) 日本放送協会編 (1974) 日本放送出版協会
『明解ア』: 『明解日本語アクセント辞典 第2版』(第1刷) 金田一春彦監修, 秋永一枝編 (1981) 三省堂
『全国ア』: 『全国アクセント辞典』(第20版) 平山輝男編 (1979) 東京堂出版

[付記]

本稿は、国立国語研究所研究部会議(1991年9月18日)で行った同じ題目の研究発表にもとづいている。同僚諸氏の指摘により、内容を改めたところも多い。記して感謝の意を表す。また、成稿後、本稿の内容について日本音声学会第284回研究例会(1991年12月7日)で発表する機会を得た。当日会場でご意見をいただいた方々に感謝申し上げる。今後の研究の糧とさせていただきます。なお、末尾ながら『東京語アクセント資料』の作成に関わられた方々に、改めてお礼を申し上げます。

別表

	語形	表記	前部成素	後部成素		後部	新	N	明	全
1	デカケル	出掛ける	デ	カケ	1 2 3	起	○	○	○	○
2	ミステル	見捨てる		ステ	1 2 3	平	○	◎	◎	◎
3	オチツク	落ち着く	オチ	ツキ	2 2 4	起	○	○	○	○
4	ミツカル	見付かる	ミ	ツカリ	1 3 4	起	○	○	○	○
5	ミオクル	見送る	ミ	オクリ	1 3 4	平	○	○	◎	◎
6	ミトース	見通す	ミ	トーシ	1 3 4	起	○	◎	◎	◎
7	オチコム	落ち込む	オチ	コミ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
8	ミカケル	見掛ける	ミ	カケ	1 2 3	起	○	◎	◎	◎
9	トリカエル	取り替える	トリ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○
10	ミアゲル	見上げる	ミ	アゲ	1 2 3	平	○	◎	◎	◎
11	ミチガエル	見違える	ミ	チガエ	1 3 4	平	○	◎	◎	◎
12	サシアゲル	差し上げる	サシ	アゲ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
13	ミツメル	見詰める	ミ	ツメ	1 2 3	起	○	◎	◎	◎
14	ミハル	見張る	ミ	ハリ	1 2 3	平	○	○	◎	◎
15	モチアゲル	持ち上げる	モチ	アゲ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
16	ミチタリル	満ち足りる	ミチ	タリ	2 2 4	平	○			
17	ミナレル	見慣れる	ミ	ナレ	1 2 3	起	○	◎	◎	◎
18	ウチアケル	打ち明ける	ウチ	アケ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
19	ツメヨル	詰め寄る	ツメ	ヨリ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
20	デマワル	出回る	デ	マワリ	1 3 4	平	○	◎	◎	◎
21	ニゲダス	逃げ出す	ニゲ	ダシ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
22	ミノガス	見逃す	ミ	ノガシ	1 3 4	起	○	◎	◎	◎
23	タチガレル	立ち枯れる	タチ	カレ	2 2 4	平	○			
24	タテコム	立て込む	タテ	コミ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
25	タチサル	立ち去る	タチ	サリ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
26	ヒエコム	冷え込む	ヒエ	コミ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
27	ツメコム	詰め込む	ツメ	コミ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
28	ミスエル	見据える	ミ	スエ	1 2 3	平	○	◎	◎	◎
29	ミホレル	見ほれる	ミ	ホレ	1 2 3	平	○	◎		○
30	トケコム	溶け込む	トケ	コミ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
31	ミスカス	見透かす	ミ	スカシ	1 3 4	平	○	◎	◎	◎
32	ウケトル	受け取る	ウケ	トリ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
33	サシコム	差し込む	サシ	コミ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
34	ミアワセル	見合わせる	ミ	アワセ	1 3 4	起	○	◎	◎	◎
35	ミマモル	見守る	ミ	マモリ	1 3 4	起	○	◎	◎	◎
36	カキマワス	掻き回す	カキ	マワシ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
37	タチムカウ	立ち向かう	タチ	ムカイ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
38	ノミコム	飲み込む	ノミ	コミ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
39	トリカコム	取り囲む	トリ	カコミ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
40	ミカネル	見兼ねる	ミ	カネ	1 2 3	起	○	◎	◎	◎
41	カケダス	駆け出す	カケ	ダシ	2 2 4	起	○	○	◎	◎
42	タテカエル	立て替える	タテ	カエ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
43	トリツグ	取り次ぐ	トリ	ツギ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
44	ウケモツ	受け持つ	ウケ	モチ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
45	ミマワス	見回す	ミ	マワシ	1 3 4	平	○	◎	◎	◎
46	ミウケル	見受ける	ミ	ウケ	1 2 3	起	○	◎	◎	◎
47	コゲツク	焦げ付く	コゲ	ツキ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
48	ミクラベル	見比べる	ミ	クラベ	1 3 4	平	●	◎	◎	◎
49	ツケネラウ	付け狙う	ツケ	ネライ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
50	モチアガル	持ち上がる	モチ	アガリ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

51	デアルク	出歩く	デ	アルキ	1 3 4	起	○	○	○	○
52	カケコム	駆け込む	カケ	コ	2 2 4	起	○	○	○	○
53	デナオス	出直す	デ	ナオシ	1 3 4	起	○	○	○	○
54	ミウシナウ	見失う	ミ	ウシナイ	1 4 5	平	○	○	○	○
55	ウケトメル	受け止める	ウケ	トメ	2 2 4	平	○	○	○	○
56	ウチアゲル	打ち上げる	ウチ	アゲ	2 2 4	平	○	○	○	○
57	ケトパス	蹴飛ばす	ケ	トバシ	1 3 4	平	○	○	○	○
58	タチマワル	立ち回る	タチ	マワリ	2 3 5	平	○	○	○	○
59	タチハタラク	立ち働く	タチ	ハタラク	2 4 6	平	○	○	○	○
60	タチフサガル	立ち塞がる	タチ	フサガリ	2 4 6	平	○	○	○	○
61	カケヨル	駆け寄る	カケ	ヨリ	2 2 4	平	○	○	○	○
62	ツケタス	付け足す	ツケ	タシ	2 2 4	平	○	○	○	○
63	トジコム	綴じ込む	トジ	コム	2 2 4	起	○	○	○	○
64	トリトメル	取り留める	トリ	トメ	2 2 4	平	○	○	○	○
65	トリヨセル	取り寄せる	トリ	ヨセ	2 2 4	平	○	○	○	○
66	ミクダス	見下だす	ミ	クダシ	1 3 4	平	○	○	○	○
67	ミツモル	見積もる	ミ	ツモリ	1 3 4	平	起	○	○	○
68	トリオコナウ	執り行う	トリ	オコナイ	2 4 6	平	○	○	○	○
69	シメダス	締め出す	シメ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
70	トリアゲル	取り上げる	トリ	アゲ	2 2 4	起	○	○	○	○
71	イテツク	凍てつく	イテ	ツク	2 2 4	起	○	○	○	○
72	デクワス	出くわす	デ	クワシ	1 3 4	起	○	○	○	●
73	トリハコブ	取り運ぶ	トリ	ハコビ	2 3 5	平	○	○	○	○
74	ミナス	見做す	ミ	ナシ	1 2 3	起	○	○	○	○
75	ミワケル	見分ける	ミ	ワケ	1 2 3	起	○	○	○	○
76	カチコス	勝ち越す	カチ	コシ	2 2 4	平	○	○	○	○
77	タチヨル	立ち寄る	タチ	ヨリ	2 2 4	平	○	○	○	○
78	トリヤメル	取り止める	トリ	ヤメ	2 2 4	平	○	○	○	○
79	マチワビル	待ち侘びる	マチ	ワビ	2 2 4	平	○	○	○	○
80	ウケダス	請け出す	ウケ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
81	ウケツグ	受け継ぐ	ウケ	ツギ	2 2 4	平	○	○	○	○
82	カケツケル	駆けつける	カケ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
83	ミナオス	見直す	ミ	ナオシ	1 3 4	起	○	○	○	○
84	モチコム	持ち込む	モチ	コム	2 2 4	起	○	○	○	○
85	タチアガル	立ち上がる	タチ	アガリ	2 3 5	平	○	○	○	○
86	トリノゾク	取り除く	トリ	ノゾキ	2 3 5	平	○	○	○	○
87	メシアガル	召し上がる	メシ	アガリ	2 3 5	平	○	○	○	○
88	ウケツケル	受け付ける	ウケ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
89	タチノク	立ち退く	タチ	ノキ	2 2 4	平	○	○	○	○
90	トリケス	取り消す	トリ	ケシ	2 2 4	平	○	○	○	○
91	ナゲダス	投げ出す	ナゲ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
92	ブチコム	ぶち込む	ブチ	コム	2 2 4	起	○	○	○	○
93	ミハナス	見放す	ミ	ハナシ	1 3 4	起	○	○	○	○
94	オチクボム	落ちくぼむ	オチ	クボミ	2 3 5	平	○	○	○	○
95	オモイウカベル	思ひ浮かべる	オモイ	ウカベ	3 3 6	平	○	○	○	○
96	カチトル	勝ち取る	カチ	トル	2 2 4	起	○	○	○	○
97	タチイル	立ち入る	タチ	イリ	2 2 4	平	○	○	○	○
98	オリタタム	折り畳む	オリ	タタミ	2 3 5	平	○	○	○	○
99	タチナラブ	立ち並ぶ	タチ	ナラビ	2 3 5	平	○	○	○	○
100	オチアウ	落ち合う	オチ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

101	タチドマル	立ち止まる	タチ	トマリ	2 3 5	平	○	○	○	○
102	タチアウ	立ち合う	タチ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○
103	ハキダス	吐き出す	ハキ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
104	タチナオル	立ち直る	タチ	ナオリ	2 3 5	起	○	○	○	○
105	ミカエス	見返す	ミ	カエシ	1 3 4	起	○	○	○	○
106	ミタテル	見立てる	ミ	タテ	1 2 3	起	○	○	○	○
107	デキアガル	出来上がる	デキ	アガリ	2 3 5	平	○	○	○	○
108	トリハズス	取り外す	トリ	ハズシ	2 3 5	平	○	○	○	○
109	トリツク	取り付く	トリ	ツキ	2 2 4	起	○	○	○	○
110	ナゲコム	投げ込む	ナゲ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
111	ミオトス	見落とす	ミ	オトシ	1 3 4	起	○	○	○	○
112	ミオロス	見下ろす	ミ	オロシ	1 3 4	起	○	○	○	○
113	ミトドケル	見届ける	ミ	トドケ	1 3 4	起	○	○	○	○
114	タチノボル	立ち上ぼる	タチ	ノボリ	2 3 5	平	○	○	○	○
115	タテナオス	立て直す	タテ	ナオシ	2 3 5	起	○	○	○	○
116	トリマトメル	取り纏める	トリ	マトメ	2 3 5	平	○	○	○	○
117	オリコム	織り込む	オリ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
118	カケヌケル	駆け抜ける	カケ	ヌケ	2 2 4	平	○	○	○	○
119	キリヌク	切り抜く	キリ	ヌク	2 2 4	平	○	○	○	○
120	スミツク	住み着く	スミ	ツキ	2 2 4	起	○	○	○	●
121	ナゲステル	投げ捨てる	ナゲ	ステ	2 2 4	平	○	○	○	○
122	ニゲサル	逃げ去る	ニゲ	サリ	2 2 4	起	○	○	○	○
123	ミカワス	見交わす	ミ	カワシ	1 3 4	平	○	○	○	○
124	ミセツケル	見せ付ける	ミ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
125	ミヤブル	見破る	ミ	ヤブリ	1 3 4	起	○	○	○	○
126	シメククル	締め括る	シメ	ククリ	2 3 5	平	○	○	○	○
127	ウチコム	打ち込む	ウチ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
128	ウチケル	打ち解ける	ウチ	ケ	2 2 4	起	○	○	○	○
129	カキマゼル	掻き交ぜる	カキ	マゼ	2 2 4	起	○	○	○	○
130	タレサガル	垂れ下がる	タレ	サガリ	2 3 5	起	○	○	○	○
131	サシオク	差し置く	サシ	オク	2 2 4	平	○	○	○	○
132	タテカケル	立て掛ける	タテ	カケ	2 2 4	起	○	○	○	○
133	ナゲツケル	投げ付ける	ナゲ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
134	モチダス	持ち出す	モチ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
135	オリカサネル	折り重ねる	オリ	カサネ	2 3 5	平	○	○	○	○
136	トリタテル	取り立てる	トリ	タテ	2 2 4	起	○	○	○	○
137	ミコス	見越す	ミ	コシ	1 2 3	平	○	○	○	○
138	カチススム	勝ち進む	カチ	スミ	2 3 5	平	○	○	○	○
139	カミサゲル	見下げる	カミ	サゲ	1 2 3	起	○	○	○	○
140	カケアウ	掛け合う	カケ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	●
141	トリキメル	取り決める	トリ	キメ	2 2 4	平	○	○	○	○
142	ミワタス	見渡す	ミ	ワタシ	1 3 4	平	○	○	○	○
143	モチコス	持ち越す	モチ	コシ	2 2 4	平	○	○	○	○
144	ウチケス	打ち消す	ウチ	ケシ	2 2 4	平	○	○	○	○
145	カミキル	噛み切る	カミ	キリ	2 2 4	平	○	○	○	○
146	ケチラス	蹴散らす	ケ	チラシ	1 3 4	平	○	○	○	○
147	タレコメル	垂れ籠める	タレ	コメ	2 2 4	起	○	○	○	○
148	マチカネル	待ち兼ねる	マチ	カネ	2 2 4	起	○	○	○	○
149	トリスガル	取り締る	トリ	スガリ	2 3 5	平	起	○	○	○
150	トリチガエル	取り違える	トリ	チガエ	2 3 5	平	○	○	○	○

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

151	ミアキル	見飽きる	ミ	アキ	1 2 3	起	○	○	○	○
152	ウケイレ	受け入れる	ウケ	イレ	2 2 4	平	○	○	○	○
153	ウチスエル	打ち握える	ウチ	スエ	2 2 4	平	○	○	○	○
154	ウチトル	打ち取る	ウチ	ストリ	2 2 4	起	○	○	○	○
155	カキコム	書き込む	カキ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
156	カキタス	書き出す	カキ	タシ	2 2 4	平	○	○	○	○
157	ツケコム	つけ込む	ツケ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
158	ウチシズム	打ち沈む	ウチ	シズミ	2 3 5	平	○	○	○	○
159	カキムシル	掻きむしる	カキ	ムシル	2 3 5	平	○	○	○	○
160	カキワスレル	掻き忘れる	カキ	ワスレ	2 3 5	平	○	○	○	○
161	トキキカセル	とききかせる	トキ	キカセ	2 3 5	平	○	○	○	○
162	トリアツカウ	取り扱う	トリ	アツカイ	2 4 6	平	○	○	○	○
163	ウチコム	打ち込む	ウチ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
164	サシカエル	差し替える	サシ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○
165	ショゲコム	しょげ込む	ショ	ゲ	2 2 4	起	○	○	○	○
166	モチカエル	持ちかえる	モチ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○
167	ウチシオレル	打ち萎れる	ウチ	シオレ	2 3 5	平	○	○	○	○
168	クイツク	食いつく	クイ	ツキ	2 2 4	起	○	○	○	○
169	セキコム	掻き込む	セキ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
170	セキコム	掻き込む	セキ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
171	タチコメル	立ち定める	タチ	コメ	2 2 4	起	○	○	○	○
172	トリダス	取り出す	トリ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
173	ナリタツ	成り立つ	ナリ	タチ	2 2 4	起	○	○	○	○
174	ノミホス	飲み干す	ノミ	ホシ	2 2 4	起	○	○	○	○
175	ハネツケル	撥ね付ける	ハネ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
176	ミスゴス	見過ごす	ミ	スゴシ	1 3 4	起	○	○	○	○
177	タチツズケル	打ちつづける	タチ	ツズケ	2 3 5	平	○	○	○	○
178	オリカサナル	折り重なる	オリ	カサナリ	2 4 6	平	○	○	○	○
179	カキダス	掻き出す	カキ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
180	シミコム	しみ込む	シミ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
181	カキヨセル	掻きよせる	カキ	ヨセ	2 2 4	平	○	○	○	○
182	ミマワル	見回る	ミ	マワリ	1 3 4	平	○	○	○	○
183	ブチヌク	ぶち抜く	ブチ	ヌキ	2 2 4	平	○	○	○	○
184	ミスマス	見澄ます	ミ	スマシ	1 3 4	起	○	○	○	○
185	カケマワル	駆け回る	カケ	マワリ	2 3 5	平	○	○	○	○
186	デスギル	出過ぎる	デ	スギ	1 2 3	起	○	○	○	○
187	スギサル	過ぎ去る	スギ	サリ	2 2 4	起	○	○	○	○
188	モチヨル	持ち寄る	モチ	ヨリ	2 2 4	平	○	○	○	○
189	オキアガル	起き上がる	オキ	アガリ	2 3 5	平	○	○	○	○
190	オレアウ	折れ合う	オレ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○
191	カキトル	書き取る	カキ	トリ	2 2 4	起	○	○	○	○
192	ダシヌク	出し抜く	ダシ	ヌキ	2 2 4	平	○	○	○	○
193	デムカエル	出迎える	デ	ムカエ	1 3 4	平	○	○	○	○
194	トリイル	取り入る	トリ	イリ	2 2 4	平	○	○	○	○
195	トリサル	取り去る	トリ	サリ	2 2 4	起	○	○	○	○
196	トリワケル	取り分ける	トリ	ワケ	2 2 4	起	○	○	○	○
197	ネジコム	ねじ込む	ネジ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
198	ミセカケル	見せ掛ける	ミセ	カケ	2 2 4	起	○	○	○	○
199	ウチアワセル	打ち合わせる	ウチ	アワセ	2 3 5	起	○	○	○	○
200	クイチガウ	食い違う	クイ	チガイ	2 3 5	平	○	○	○	○

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

201	コキオロス	扱き下ろす	コキ	オロシ	2 3 5	起	○	○	○	○
202	サシマクス	差し回す	サシ	マクス	2 3 5	平	○	○		
203	タチスクム	立ち竦む	タチ	スクミ	2 3 5	平起	○	○	○	○
204	ツケマクス	付け回す	ツケ	マワシ	2 3 5	平	○	○	○	○
205	ミトル	看取る	ミ	トリ	1 2 3	起	○	○	○	○
206	キリトル	切り取る	キリ	トリ	2 2 4	起	○	○	○	○
207	デサカル	出盛る	デ	サカリ	1 3 4	平	○	○	○	○
208	トケアウ	溶け合う	トケ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○
209	ミワスレル	見忘れる	ミ	ワスレ	1 3 4	平	○	○	○	○
210	イキカエル	生き返る	イキ	カエリ	2 3 5	起	○	○	○	○
211	ウチナラス	打ち鳴らす	ウチ	ナラシ	2 3 5	平		○		○
212	ニゲマワル	逃げ回る	ニゲ	マワリ	2 3 5	平	○	○	○	○
213	ウチツレル	打ち連れる	ウチ	ツレ	2 2 4	平	○	○	○	○
214	カキヌク	書き抜く	カキ	ヌキ	2 2 4	平	○	○	○	○
215	カミワケル	噛み分ける	カミ	ワケ	2 2 4	起	○	○	○	○
216	サシダス	差し出す	サシ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
217	サシヒク	差し引く	サシ	ヒキ	2 2 4	平	○	○	○	○
218	セメヨセル	攻め寄せる	セメ	ヨセ	2 2 4	平	○	○	○	○
219	トリクム	取り組む	トリ	クミ	2 2 4	起	○	○	○	○
220	トリサゲル	取り下げる	トリ	サゲ	2 2 4	起	○	○	○	○
221	ナデツケル	撫で付ける	ナデ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
222	ヌギステル	脱ぎ捨てる	ヌギ	ステ	2 2 4	平	○	○	○	○
223	ハキダス	歩き出す	ハキ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
224	アユミヨル	歩み寄る	アユミ	ヨリ	3 2 5	平	○	○	○	○
225	ウチカエス	打ち返す	ウチ	カエシ	2 3 5	起	○	○	○	○
226	カミツプス	噛み潰す	カミ	ツプ	2 3 5	平	○	○	○	○
227	キリキザム	切り刻む	キリ	キザミ	2 3 5	平	○	○	○	○
228	クリヒロゲル	繰り広げる	クリ	ヒロゲ	2 3 5	平	○	○	○	○
229	ケツマズク	蹴躓く	ケ	ツマズキ	1 4 5	平	○	○	○	○
230	トリムスブ	取り結ぶ	トリ	ムスビ	2 3 5	平	○	○		
231	ノミクダス	飲み下だす	ノミ	クダス	2 3 5	平	○	○	○	
232	マチアワセル	待ち合わせる	マチ	アワセ	2 3 5	起	○	○	○	○
233	ウチツケル	打ちつける	ウチ	ツケ	2 2 4	起	●	○	○	○
234	カキワケル	掻き分ける	カキ	ワケ	2 2 4	起	○	○	○	○
235	シメキル	締め切る	シメ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○
236	ツケイル	付け入る	ツケ	イリ	2 2 4	平	○	○	○	○
237	ミサダメル	見定める	ミ	サダメ	1 3 4	起	○	○	○	○
238	カチノコル	勝ち残る	カチ	ノコリ	2 3 5	起	○			
239	ウチヌク	撃ち抜く	ウチ	ヌキ	2 2 4	平	○			
240	ウケナガス	受け流す	ウケ	ナガシ	2 3 5	起	○	○	○	○
241	スリコム	擦り込む	スリ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
242	ミコム	見込む	ミ	コミ	1 2 3	起	○	○	○	○
243	モーシオクル	申し送る	モーシ	オクリ	3 3 6	平	○	○	○	○
244	トリコム	取り込む	トリ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
245	クイツナグ	食い繋ぐ	クイ	ツナギ	2 3 5	平	○	○		
246	カミアウ	噛み合う	カミ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○
247	コミイル	噛み入る	コミ	イリ	2 2 4	平	○	○	○	○
248	トリノケル	取り除ける	トリ	ノケ	2 2 4	平	○	○	○	○
249	モチサル	持ち去る	モチ	サリ	2 2 4	起		○	○	○
250	コネマクス	握ね回す	コネ	マワシ	2 3 5	平	○	○	○	○

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

251	トリカワス	取り交わす	トリ	カワシ	2 3 5	平	○	○	○	○
252	モーシコム	申し込込む	モーシ	コミセ	3 2 5	起	○	○	○	○
253	ウチヨセル	打ち寄せる	ウチ	ヨセ	2 2 4	平	○	○	○	○
254	カキワケル	書き分ける	カキ	ワケ	2 2 4	起	○	○	○	○
255	キリステル	切り捨てる	キリ	ステ	2 2 4	平	○	○	○	○
256	クミカエル	組み替える	クミ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○
257	クリイレル	繰り入れる	クリ	イレ	2 2 4	平	○	○	○	○
258	クリコム	繰り込む	クリ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
259	ホエツク	吠えつく	ホエ	ツキ	2 2 4	起	○	○	○	○
260	キリマワス	切り回す	キリ	マワシ	2 3 5	平	○	○	○	○
261	ヒワレル	干割れる	ヒ	ワレ	1 2 3	平	○	○	○	○
262	カキトメル	書き留める	カキ	トメ	2 2 4	平	○	○	○	○
263	クミシク	組み敷く	クミ	シキ	2 2 4	平	○	○	○	○
264	クリアゲル	繰り上げる	クリ	アゲ	2 2 4	平	○	○	○	○
265	コジツケル	こじつける	コジ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
266	シメアゲル	締め上げる	シメ	アゲ	2 2 4	平	○	○	○	○
267	トリイレル	取り入れる	トリ	イレ	2 2 4	平	○	○	○	○
268	トリナス	執り成す	トリ	ナス	2 2 4	起	○	○	○	○
269	ブチマケル	ぶちまける	ブチ	マケ	2 2 4	起	○	○	○	○
270	モチカケル	持ち掛ける	モチ	カケ	2 2 4	起	○	○	○	○
271	モチキル	持ち切る	モチ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○
272	ヨミコム	読み込む	ヨミ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
273	ウチマカス	打ち負かす	ウチ	マカシ	2 3 5	平	○	○	○	○
274	オモイヤル	思いやる	オモイ	ヤリ	3 2 5	平	○	○	○	○
275	タチカエル	立ち返る	タチ	カエ	2 3 5	起	○	○	○	○
276	ツケクワエル	付け加える	ツケ	クワシ	2 3 5	起	○	○	○	○
277	ブチカマス	ぶちかます	ブチ	カマシ	2 3 5	起	○	○	○	○
278	ウチカツ	打ち勝つ	ウチ	カチ	2 2 4	起	○	○	○	○
279	ウチステル	打ち捨てる	ウチ	ステ	2 2 4	平	○	○	○	○
280	オリマゲル	折り曲げる	オリ	マゲ	2 2 4	平	○	○	○	○
281	クイトメル	食い止める	クイ	トメ	2 2 4	平	○	○	○	○
282	クミコム	組み込む	クミ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
283	デハラウ	出払う	デ	ハライ	1 3 4	起	○	○	○	●
284	トリアウ	取り合う	トリ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○
285	トリマク	取り巻く	トリ	マイ	2 2 4	平	○	○	○	○
286	ナレアウ	馴れ合う	ナレ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○
287	ヒエキル	冷え切る	ヒエ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○
288	ヨミトル	読み取る	ヨミ	トリ	2 2 4	起	○	○	○	○
289	オリカエス	折り返す	オリ	カエシ	2 3 5	起	○	○	○	○
290	カキイレル	書き入れる	カキ	イレ	2 2 4	平	○	○	○	○
291	カキツケル	書き付ける	カキ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
292	セメタテル	責め立てる	セメ	タテ	2 2 4	起	○	○	○	○
293	タチキル	断ち切る	タチ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○
294	サシオサエル	差し押さえる	サシ	オサエ	2 3 5	起	○	○	○	○
295	ツケアワセル	付け合わせる	ツケ	アワセ	2 3 5	起	○	○	○	○
296	モーシソエル	申し添える	モーシ	ソエ	3 2 5	平	○	○	○	○
297	カキチラス	書き散らす	カキ	チラシ	2 3 5	平	○	○	○	○
298	トリオサエル	取り押さえる	トリ	オサエ	2 3 5	起	○	○	○	○
299	サシムケル	差し向ける	サシ	ムケ	2 2 4	平	○	○	○	○
300	ツメアワセル	詰め合わせる	ツメ	アワセ	2 3 5	起	○	○	○	○

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

301	シメツケル	締め付ける	シメ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
302	デツクス	出尽くす	デ	ツクシ	1 3 4	起	○			●
303	テリツケル	照り付ける	テリ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
304	フキアレル	吹き荒れる	フキ	アレ	2 2 4	平	○		○	○
305	ウチツズク	打ち続く	ウチ	ツズキ	2 3 5	平	○	○	○	○
306	キリムスブ	切り結ぶ	キリ	ムスビ	2 3 5	平	○	○	○	○
307	カキステル	書き捨てる	カキ	ステ	2 2 4	平	○			○
308	カキソエル	書き捨てる	カキ	ソエ	2 2 4	平		○		○
309	クイコム	食い込む	クイ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
310	クリノベル	繰り延べる	クリ	ノベ	2 2 4	起	○	○	○	○
311	クミアゲル	込み上げる	クミ	アゲ	2 2 4	平	○	○	○	○
312	サシトメル	差し止める	サシ	トメ	2 2 4	平	○	○	○	○
313	スミカエル	すみ替える	スミ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○
314	マチウケル	待ち受ける	マチ	ウケ	2 2 4	起	○	○	○	○
315	クイチラス	食い散らす	クイ	チラシ	2 3 5	平	○	○	○	○
316	スレチガウ	擦れ違う	スレ	チガイ	2 3 5	平	○	○	○	○
317	トリナオス	取り直す	トリ	ナオシ	2 3 5	起	○	○	○	○
318	ナリカワル	成り代わる	ナリ	カワリ	2 3 5	平	○	○	○	○
319	ミノコナウ	見損なう	ミノ	コナイ	1 4 5	起	○	○	○	○
320	ウチカサナル	打ち重なる	ウチ	カサナリ	2 4 6	平	○	○		
321	ウケオウ	請け負う	ウケ	オイ	2 2 4	起平	○	●	●	●
322	ウチキルム	打ち切る	ウチ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○
323	オイコム	老い込む	オイ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
324	オリアウ	折り合う	オリ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○
325	サシイレル	差し入る	サシ	イレ	2 2 4	平	○	○	○	○
326	セメイレル	攻め入る	セメ	イリ	2 2 4	平	○	○	○	○
327	ダシキル	出し切る	ダシ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○
328	ニゲコム	逃げ込む	ニゲ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
329	ヌイコム	縫い込む	ヌイ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○
330	ミナラウ	見習う	ミ	ナライ	1 3 4	起	○	○	○	○
331	ウチコロス	打ち殺す	ウチ	コロシ	2 3 5	平	○	○	○	○
332	カミコロス	噛み殺す	カミ	コロシ	2 3 5	平	○	○	○	○
333	シメコロス	締め殺す	シメ	コロシ	2 3 5	平	○	○	○	○
334	スミワタル	澄み渡る	スミ	ワタリ	2 3 5	平	○	○	○	○
335	モチアワス	持ち合わせる	モチ	アワシ	2 3 5	起	○	○	○	
336	ツキシタガウ	付き従う	ツキ	シタガイ	2 4 6	平	○	○		
337	ミマウ	見舞う	ミ	マイ	1 2 3	平	○	○	○	○
338	ウチダス	打ち出す	ウチ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
339	カキカエル	書き替える	カキ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○
340	カキダス	書き出す	カキ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
341	キリヌケル	切り抜ける	キリ	ヌケ	2 2 4	平	○	○	○	○
342	クイツメル	食い詰める	クイ	ツメ	2 2 4	起	○	○	○	○
343	クリヌク	くり貫く	クリ	ヌキ	2 2 4	平	○	○	○	○
344	ケヤブル	蹴破る	ケ	ヤブリ	1 3 4	起	○	○	○	○
345	コジアケル	こじあける	コジ	アケ	2 2 4	平	○	○	○	○
346	セメコム	攻め込む	セメ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	●
347	タチワル	断ち割る	タチ	ワリ	2 2 4	平	○	○	○	○
348	ナデアゲル	撫で上げる	ナデ	アゲ	2 2 4	平	●	○	○	○
349	ミノコス	見残す	ミノ	コシ	1 3 4	起	○	○	○	○
350	クイツプス	食い潰す	クイ	ツプシ	2 3 5	平	○	○	○	○

	語形	表記	前部成素	後部成素		後部	新	N	明	全
351	クリマワス	繰り回す	クリ	マワシ	2 3 5	平	○	○	○	○
352	ツケアガルス	付け上げる	ツケ	アガリ	2 3 5	平	○	○	○	○
353	テリカエス	照り返す	テリ	カエシ	2 3 5	起	○	○	○	○
354	モチナオス	持ち直す	モチ	ナオシ	2 3 5	起	○	○	○	○
355	トリソコナウ	取りそこなう	トリ	ソコナイ	2 4 6	起	○	○	○	○
356	キリアゲル	切り上げる	キリ	アゲ	2 2 4	平	○	○	○	○
357	サシカケル	差し掛ける	サシ	カケ	2 2 4	起	○	○	○	○
358	ツメカケル	詰め掛ける	ツメ	カケ	2 2 4	起	○	○	○	○
359	トリツケル	取り付ける	トリ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	●
360	ネジキル	振り切る	ネジ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○
361	ホリサゲル	掘り下げる	ホリ	サゲ	2 2 4	起	○	○	○	○
362	ミヒラク	見開く	ミ	ヒラク	1 3 4	起	○	○	○	○
363	ウチオトス	打ち落とす	ウチ	オトシ	2 3 5	起	○	○	○	○
364	ウチナオス	打ち直す	ウチ	ナオシ	2 3 5	起	○	○	○	○
365	カケアガル	駆け上がる	カケ	アガリ	2 3 5	平	○	○	○	○
366	カケアワセル	掛け合わせる	カケ	アワセ	2 3 5	起	○	○	○	○
367	サシコロス	刺し殺す	サシ	コロシ	2 3 5	平	○	○	○	○
368	トリカエス	取り返す	トリ	カエシ	2 3 5	起	○	○	○	○
369	トリシマル	取り締まる	トリ	シマリ	2 3 5	起	○	○	○	○
370	オモイアタル	思い当たる	オモイ	アタリ	3 3 6	平	○	○	○	○
371	オモイメグラス	思い巡らす	オモイ	メグラス	3 4 7	平起	○	○	○	○
372	オリタツ	降り立つ	オリ	タチ	2 2 4	起	○	○	○	○
373	カミシメル	噛み締める	カミ	シメ	2 2 4	起	○	○	○	○
374	スリヌケル	すり抜ける	スリ	ヌケ	2 2 4	平	○	○	○	○
375	ネジアゲル	ねじ上げる	ネジ	アゲ	2 2 4	平	○	○	○	○
376	イキノコルス	生き残る	イキ	ノコリ	2 3 5	起	○	○	○	○
377	スリヘラス	磨り減らす	スリ	ヘラシ	2 3 5	平	○	○	○	○
378	ハシリヨル	走り寄る	ハシリ	ヨリ	3 2 5	平	○	○	○	○
379	マチコガレル	待ち焦がれる	マチ	コガレ	2 3 5	起	○	○	○	○
380	フキカエス	吹き返す	フキ	カエシ	2 3 5	起	○	○	○	○
381	スリカエス	すり替える	スリ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○
382	カキナオス	かき直す	カキ	ナオシ	2 3 5	起	○	○	○	○
383	キリダス	切り出す	キリ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
384	クリダス	繰り出す	クリ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
385	ミイダス	見出だす	ミ	イダシ	1 3 4	起	○	○	○	○
386	クイアラス	食い荒らす	クイ	アラシ	2 3 5	平	○	○	○	○
387	フキサブ	吹き荒ぶ	フキ	スサビ	2 3 5	平	○	○	○	○
388	フリソソグ	降り注ぐ	フリ	ソソギ	2 3 5	平起	○	○	○	○
389	マチアワス	待ち合わせる	マチ	アワシ	2 3 5	起	○	○	○	○
390	モチハコブ	もち合わせる	モチ	ハコビ	2 3 5	平	○	○	○	○
391	カケカエル	掛け替える	カケ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○
392	キリツメル	切り詰める	キリ	ツメ	2 2 4	起	○	○	○	○
393	クミイレル	組み入れる	クミ	イレ	2 2 4	平	○	○	○	○
394	クニコス	繰り越す	ク	コシ	2 2 4	平	○	○	○	○
395	ケオトス	蹴落とす	ケ	オトシ	1 3 4	起	○	○	○	○
396	コギツケル	漕ぎ着ける	コギ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
397	デカカル	出かか	デ	カカリ	1 3 4	起	○	○	○	○
398	ナゲカケル	投げ掛ける	ナゲ	カケ	2 2 4	起	○	○	○	○
399	メシトル	召し捕る	メシ	トリ	2 2 4	起	○	○	○	○
400	カケメグル	駆け巡る	カケ	メグリ	2 3 5	平	○	○	○	○

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

401	クリアガ	繰り上がる	クリ	アガ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
402	トリマワ	取り回す	トリ	マワ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
403	ナギタオ	薙ぎ倒す	ナギ	タオ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○	○
404	ニジリヨ	廻り寄る	ニジ	リヨ	3 2 5	平	○	○	○	○	○	○	○
405	ウチタテ	打ち立て	ウチ	タテ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
406	エリヌク	選り抜く	エリ	ヌキ	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○	○
407	キリコム	切り込む	キリ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
408	クイキル	食い切る	クイ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
409	サシノベ	差し延べる	サシ	ノベ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
410	デソロウ	出揃う	デ	ソロ	1 3 4	起	○	○	○	○	○	○	○
411	ニゲノボ	逃げ延び	ニゲ	ノボ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
412	ヨミキル	読み切る	ヨミ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
413	カキクワ	書き加える	カキ	クワ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
414	カキシル	書き記す	カキ	シル	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
415	カキノコ	書き残す	カキ	ノコ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○	○
416	サシカザ	差しかざす	サシ	カザ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
417	トキアカ	説き明かす	トキ	アカ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
418	ノミツブ	飲み潰れる	ノミ	ツブ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
419	ヨジョノ	よじ登る	ヨジョ	ノ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
420	カキアラ	書き表わす	カキ	アラ	2 4 6	起	○	○	○	○	○	○	○
421	ツケクワ	付け加わる	ツケ	クワ	2 4 6	平	○	○	○	○	○	○	○
422	イキノビ	生き延び	イキ	ノビ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
423	クミアウ	組み合う	クミ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
424	スリヘル	磨り減る	スリ	ヘル	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○	○
425	セキトメ	塞き止める	セキ	トメ	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○	○
426	セメツケ	責め付ける	セメ	ツケ	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○	○
427	ツケカエ	つけ替える	ツケ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○	○
428	ハネケル	撥ね除ける	ハネ	ケル	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○	○
429	フキコム	吹き込む	フキ	コミ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
430	フキツケ	吹き付ける	フキ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
431	モギトル	もぎ取る	モギ	トル	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
432	カキウツ	書き写す	カキ	ウツ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○	○
433	キリコロ	切り殺す	キリ	コロ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
434	サエワタ	冴え渡る	サエ	ワタ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
435	タテナオ	建て直す	タテ	ナオ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○	○
436	タラシコ	誑し込む	タラ	シコ	3 2 5	起	○	○	○	○	○	○	○
437	トリアワ	取り合わせる	トリ	アワ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○	○
438	マキチラ	撒き散らす	マキ	チラ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
439	カキケス	かき消す	カキ	ケス	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○	○
440	スミキル	澄み切る	スミ	キリ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
441	セリダス	迫り出す	セリ	ダス	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
442	タエカネ	たえかねる	タエ	カネ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
443	ナシトゲ	為し遂げる	ナシ	トゲ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○	○
444	ミカギル	見限る	ミ	カギ	1 3 4	起	○	○	○	○	○	○	○
445	オモイコ	思い込む	オモ	イコ	3 2 5	起	○	○	○	○	○	○	○
446	オモイツ	思い詰める	オモ	イツ	3 2 5	起	○	○	○	○	○	○	○
447	スリツブ	すり潰す	スリ	ツブ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○	○
448	トリクズ	取り崩す	トリ	クズ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○	○
449	トリコボ	取り零す	トリ	コボ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○	○
450	ノミタオ	飲み倒す	ノミ	タオ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○	○

語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

451	ウチマク	打ちまく	ウチ	マク	2 3 5	平	○												
452	カキアツ	掻き集める	カキ	アツ	2 3 5	起	○	○	○	○									
453	セメオト	攻め落とす	セメ	オト	2 3 5	起	○	○	○	○	●								
454	トリシラ	取り調べる	トリ	シラ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
455	ツクリカ	作り替える	ツク	リカ	3 2 5	平	○	○	○	○	○	○							
456	ココキマ	扱き交ぜ	ココ	キマ	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○							
457	スギユク	過ぎ行く	スギ	ユク	2 2 4	平	●	○	○	○	○	○							
458	スリヨル	擦り寄る	スリ	ヨル	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○							
459	イキヌク	生き抜く	イキ	ヌク	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○							
460	ウチヌク	打ち抜く	ウチ	ヌク	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○							
461	クミアゲ	組み上げる	クミ	アゲ	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○							
462	コギダス	漕ぎ出す	コギ	ダス	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○							
463	ヘシオル	へし折る	ヘシ	オル	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○							
464	メシアゲ	召し上げる	メシ	アゲ	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○							
465	ヨイシレ	酔い痴れる	ヨイ	シレ	2 2 4	平	起	○	○	○	○	○							
466	オモイツ	思いつく	オモ	イツ	3 2 5	起	○	○	○	○	○	○							
467	カエリザ	返り咲く	カエ	リザ	3 2 5	平	○	○	○	○	○	○							
468	キリタオ	切り出す	キリ	タオ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
469	クイタオ	食い倒す	クイ	タオ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
470	タタキア	叩き上げる	タタ	キア	3 2 5	平	○	○	○	○	○	○							
471	ハゲアガ	禿げ上がる	ハゲ	アガ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○							
472	ヨミコナ	読みこなす	ヨミ	コナ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○							
473	オモイク	思い比べ	オモ	イク	3 3 6	平	○	○	○	○	○	○							
474	ケタテル	蹴立てる	ケ	タテ	1 2 3	起	○	○	○	○	○	○							
475	アミダス	編み出す	アミ	ダス	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○							
476	カチヌク	勝ち抜く	カチ	ヌク	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○							
477	キリカエ	切り替える	キリ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○							
478	キリサゲ	切り下げる	キリ	サゲ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○							
479	キリフセ	切り伏せる	キリ	フセ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○							
480	セリアウ	競り合う	セリ	アウ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○							
481	タテカエ	建て替える	タテ	カエ	2 2 4	平	○	○	○	○	○	○							
482	タベスギ	食べ過ぎ	タベ	スギ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○							
483	トリモツ	取り持つ	トリ	モツ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○							
484	ナリハテ	成り果てる	ナリ	ハテ	2 2 4	起	○	○	○	○	○	○							
485	ミキワメ	見極める	ミ	キワ	1 3 4	起	○	○	○	○	○	○							
486	ミクビル	見縊る	ミ	クビ	1 3 4	起	平	○	○	○	○	○							
487	ウチクズ	打ち崩す	ウチ	クズ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
488	カキアワ	掻き合わせる	カキ	アワ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
489	クイコロ	食い殺す	クイ	コロ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○							
490	クリカエ	繰り返す	クリ	カエ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
491	サゲワタ	下げ渡す	サゲ	ワタ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○							
492	サシノボ	さし昇る	サシ	ノボ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○							
493	サシモド	差し戻す	サシ	モド	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
494	ソナエツ	備え付ける	ソナ	エツ	3 2 5	起	○	○	○	○	○	○							
495	トキオコ	説き起す	トキ	オコ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
496	トギヌマ	澄ぎこます	トギ	ヌマ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
497	トリソロ	取り揃える	トリ	ソロ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
498	トリチラ	取り散らす	トリ	チラ	2 3 5	平	○	○	○	○	○	○							
499	ナデオロ	撫で下ろす	ナデ	オロ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							
500	ネリナオ	練り直す	ネリ	ナオ	2 3 5	起	○	○	○	○	○	○							

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

501	ハレワタル	晴れ渡る	ハレ	ワタリ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
502	ムシカエス	蒸し返す	ムシ	カエシ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
503	モーシアゲル	申し上げる	モーシ	アゲ	3 2 5	平	○	◎	◎	◎
504	キリアウ	切り合う	キリ	アイ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
505	ヨミアゲル	読み上げる	ヨミ	アゲ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
506	オレマガル	折れ曲がる	オレ	マガリ	2 3 5	平		◎	◎	◎
507	カキツズケル	書き続ける	カキ	ツズケ	2 3 5	平			◎	◎
508	カキツラネル	書き連ねる	カキ	ツラネ	2 3 5	起		◎		
509	カキミダス	掻き乱す	カキ	ミダシ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
510	カキモラス	書き漏らす	カキ	モラシ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
511	カミクダク	噛み砕く	カミ	クダキ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
512	キリクズス	切り屑す	キリ	クズシ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
513	クイノパス	食い延ばす	クイ	ノバシ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
514	サシカカル	差し掛かる	サシ	カカリ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
515	タチオクレル	立ち遅れる	タチ	オクレ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
516	タチオサワグ	立ち騒ぐ	タチ	オサワ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
517	タチツクス	立ち尽くす	タチ	ツクシ	2 3 5	起	○		◎	◎
518	トキハナス	解き放す	トキ	ハナシ	2 3 5	起	○	◎		
519	トリオトス	取り落とす	トリ	オトシ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
520	トリキル	取り仕切る	トリ	シキリ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
521	ナリアガル	成り上がる	ナリ	アガリ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
522	ハシリヌク	走り抜く	ハシリ	ヌキ	3 2 5	平	◎			
523	ハナシコム	話し込む	ハナシ	コミ	3 2 5	起	○	◎	◎	◎
524	ハライサゲル	払い下げる	ハライ	サゲ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
525	ホリカエス	掘り返す	ホリ	カエシ	2 3 5	起		◎	◎	◎
526	モチコタエル	持ち堪える	モチ	コタエ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
527	ヨイツブレル	酔い潰れる	ヨイ	ツブレ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
528	ヨミアワセ	読み合わせる	ヨミ	アワセ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
529	モーシワタス	申し渡す	モーシ	ワタシ	3 3 6	平	◎	◎	◎	◎
530	カケオリル	駆け下りる	カケ	オリ	2 2 4	起		◎	◎	
531	セキタテル	急き立てる	セキ	タテ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
532	ツメキル	詰める	ツメ	キリ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
533	ハネアゲル	跳ね上げる	ハネ	アゲ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
534	ヨリヌク	選り抜く	ヨリ	ヌキ	2 2 4	平	◎	◎	◎	◎
535	キリオトス	切り落とす	キリ	オトシ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
536	トリノコス	取り残す	トリ	ノコシ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
537	トリマギレル	取り紛れる	トリ	マギレ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
538	ハネトパス	跳ね飛ばす	ハネ	トバシ	2 3 5	平		◎	◎	◎
539	ハライモドス	払い戻す	ハライ	モドシ	3 3 6	起	○	◎	◎	◎
540	フキダス	噴き出す <small>(pkが)</small>	フキ	ダシ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
541	トリハラウ	取り払う	トリ	ハライ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
542	ハネマワル	跳ね回る	ハネ	マワリ	2 3 5	平	○	◎	◎	◎
543	モチアワセ	持ち合わせる	モチ	アワセ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
544	タチハダカル	立ちはだかる	タチ	ハダカリ	2 4 6	起	平	◎	◎	◎
545	トリハカラウ	取り計らう	トリ	ハカライ	2 4 6	起	○	◎	◎	◎
546	ナデマワス	撫で回す	ナデ	マワシ	2 3 5	平		◎	◎	◎
547	キリツケル	切り付ける	キリ	ツケ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
548	クイアウ	食い合う	クイ	アイ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
549	トジコメル	閉じ込める	トジ	コメ	2 2 4	起	◎			
550	カカリアウ	掛り合う	カカリ	アイ	3 2 5	起	○	◎	◎	◎

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

551	カケハナレル	掛け離れる	カケ	ハナレ	2 3 5	起	○	○	○	○
552	キリハナス	切り放す	キリ	ハナシ	2 3 5	平	○	○	○	○
553	トーリコス	通り越す	トーリ	コシ	3 2 5	平	○	○	○	○
554	ミハカラウ	見計らう	ミ	ハカライ	1 4 5	起	○	○	○	○
555	クチハテル	朽ち果てる	クチ	ハテ	2 2 4	起	○	○	○	●
556	クミタテル	組み立てる	クミ	タテ	2 2 4	起	○	○	○	○
557	ハイダス	這い出す	ハイ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
558	ミトガメル	見とがめる	ミ	トガメ	1 3 4	起	○	○	○	○
559	ヨミサス	読みさす	ヨミ	サシ	2 2 4	起	○	○		
560	オモイダス	思い出す	オモイ	ダシ	3 2 5	起	○	○	○	○
561	カキナガス	書き流す	カキ	ナガシ	2 3 5	起	○	○	○	○
562	キリオロス	切り下ろす	キリ	オロシ	2 3 5	起	○	○	○	○
563	クミアワス	組み合わす	クミ	アワシ	2 3 5	起	○		○	○
564	タテコモル	立て籠もる	タテ	コモリ	2 3 5	起	○	○	○	○
565	ツクリダス	作りだす	ツクリ	ダシ	3 2 5	起	○	○	○	○
566	トジコモル	閉じ籠もる	トジ	コモリ	2 3 5	起	○	○	○	○
567	トリモドス	取り戻す	トリ	モドシ	2 3 5	起	○	○	○	○
568	ノビナヤム	伸び悩む	ノビ	ナヤミ	2 3 5	起	○	○	○	○
569	ノミマワス	飲み回す	ノミ	マワシ	2 3 5	平	○	○	○	
570	ハジキダス	弾き出す	ハジキ	ダシ	3 2 5	起	○	○	○	●
571	ミツクロウ	見繕う	ミ	ツクロイ	1 4 5	起	○	○	○	○
572	モチクズス	持ち崩す	モチ	クズシ	2 3 5	起	○	○	○	○
573	アミアゲル	編み上げる	アミ	アゲ	2 2 4	平	○		○	○
574	カキタテル	書き立てる	カキ	タテ	2 2 4	起	○	○	○	○
575	コミアウ	込み合う	コミ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○
576	スミナレル	住み慣れる	スミ	ナレ	2 2 4	起	○	○	○	●
577	ズリオチル	ずり落ちる	ズリ	オチ	2 2 4	起	○	○	○	○
578	スリキレル	すり切れる	スリ	キレ	2 2 4	起	○	○	○	○
579	スリツケル	すり付ける	スリ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
580	セメヨル	攻め寄る	セメ	ヨリ	2 2 4	平	○		○	○
581	ダシアウ	出し合う	ダシ	アイ	2 2 4	起		○	○	○
582	ツメカエル	詰め替える	ツメ	カエ	2 2 4	平		○	○	○
583	トキフセル	とき伏せる	トキ	フセ	2 2 4	起	○	○	○	○
584	ヌイツケル	縫い付ける	ヌイ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
585	ネガイデル	願い出る	ネガイ	イ	3 1 4	起	○		○	○
586	ネジフセル	振じ伏せる	ネジ	フセ	2 2 4	起	○	○	○	○
587	ネメツケル	ねめ付ける	ネメ	ツケ	2 2 4	起	○	○	○	○
588	ハジイル	恥じる	ハジ	イリ	2 2 4	平	○		○	○
589	カチホコル	勝ち誇る	カチ	ホコリ	2 3 5	起	○	○	○	○
590	キリカワル	切り替わる	キリ	カワリ	2 3 5	平	○		○	○
591	クイサガル	食い下がる	クイ	サガリ	2 3 5	起	○	○	○	○
592	ソリカエル	反り返る	ソリ	カエリ	2 3 5	起	○	○	○	○
593	トリミダス	取り乱す	トリ	ミダシ	2 3 5	起	○	○	○	○
594	ナゲトパス	投げ飛ばす	ナゲ	トバシ	2 3 5	平	○	○	○	○
595	ニゲオクレル	逃げ遅れる	ニゲ	オクレ	2 3 5	平	○		○	○
596	ヌイアワセル	縫い合わせる	ヌイ	アワセ	2 3 5	起	○		○	○
597	ハネアガル	跳ね上がる	ハネ	アガリ	2 3 5	平	○	○	○	○
598	ハレアガル	晴れ上がる	ハレ	アガリ	2 3 5	平	○	○	○	○
599	ミマチガエル	見間違える	ミ	マチガエ	1 4 5	起		○	○	●
600	ヨミクダス	読み下す	ヨミ	クダシ	2 3 5	平	○	○		

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

601	ウツリカワル	移り変わる	ウツリ	カワリ	3 3 6	平	○	○	○	○
602	オモイナオス	思い直す	オモイ	ナオシ	3 3 6	起	○	○	○	○
603	イオトス	射落とす	イ	オトシ	1 3 4	起	○	○	○	○
604	カキアゲル	書き上げる	カキ	アゲ	2 2 4	平	○	○	○	○
605	クリサゲル	繰り下げ	クリ	サゲ	2 2 4	起	○	○	○	○
606	トリマゼル	取り混ぜ	トリ	マゼ	2 2 4	起	○	○	○	○
607	ネジアケル	ねじ開ける	ネジ	アケ	2 2 4	平	○	○	○	○
608	オキナオル	起き直る	オキ	ナオリ	2 3 5	起	○	○	○	○
609	カツギダス	担ぎ出す	カツギ	ダシ	3 2 5	起	○	○	○	○
610	カモシダス	醸し出す	カモシ	ダシ	3 2 5	起	○	○	○	●
611	ケチラカス	蹴散らかす	ケ	チラカシ	1 4 5	平	○	○	○	○
612	タノミコム	頼み込む	タノミ	コミ	3 2 5	起	○	○	○	○
613	ツカミアウ	掴み合う	ツカミ	アイ	3 2 5	起	○	○	○	○
614	トリカカル	取り掛かる	トリ	カカリ	2 3 5	起	○	○	○	○
615	トリコワス	取り壊す	トリ	コワシ	2 3 5	起	○	○	○	○
616	トリスマス	取り澄ます	トリ	スマシ	2 3 5	起	○	○	○	○
617	ニゲカエス	逃げ帰る	ニゲ	カエシ	2 3 5	起	○	○	○	○
618	ハネカエス	跳ね返す	ハネ	カエシ	2 3 5	起	○	○	○	○
619	ヨミオワル	読み終わる	ヨミ	オワリ	2 3 5	平	○	○	○	○
620	ヨミカエス	読み返す	ヨミ	カエシ	2 3 5	起	○	○	○	○
621	オモイアガル	思い上がる	オモイ	アガリ	3 3 6	平	○	○	○	○
622	オモフケル	読み耽る	オヨミ	フケリ	2 3 5	起	○	○	○	○
623	キリカエス	切り返す	キリ	カエシ	2 3 5	起	○	○	○	○
624	ミマガウ	見紛う	ミ	マガイ	1 3 4	起	○	●	○	○
625	オサエコム	押さえこむ	オサエ	コミ	3 2 5	起	○	○	○	○
626	クミアワセル	組み合わせる	クミ	アワセ	2 3 5	起	○	○	○	○
627	ダシオシム	出し惜しむ	ダシ	オシミ	2 3 5	起	○	●	○	○
628	ダマリコム	黙り込む	ダマリ	コミ	3 2 5	起	○	○	○	●
629	ノミアカス	飲み明かす	ノミ	アカシ	2 3 5	平	○	○	○	○
630	ハシリコム	走り込む	ハシリ	コム	3 2 5	起	○	○	○	○
631	タタキオコス	叩き起こす	タタキ	オコシ	3 3 6	起	○	○	○	○
632	ニラミアワセル	睨み合わせる	ニラミ	アワセ	3 3 6	起	○	○	○	○
633	ウチアウ	打ち合う	ウチ	アイ	2 2 4	起	○	○	○	○
634	キアワセル	来合わせる	キ	アワセ	1 3 4	起	○	○	○	○
635	キリサク	切り裂く	キリ	サク	2 2 4	起	○	○	○	○
636	クイスギル	食い過ぎる	クイ	スギ	2 2 4	起	○	○	○	○
637	スリヨセル	すり寄せる	スリ	ヨセ	2 2 4	平	○	○	○	○
638	ツキシウ	付き添う	ツキシ	ソイ	2 2 4	平	○	○	○	○
639	フリダス	降り出す	フリ	ダシ	2 2 4	起	○	○	○	○
640	オボエコム	覚え込む	オボエ	コム	3 2 5	起	○	○	○	○
641	カエリカケル	帰る	カエリ	カケ	3 2 5	起	○	○	○	○
642	カキハジメル	書き始める	カキ	ハジメ	2 3 5	平	○	○	○	○
643	カケモドル	駆け戻る	カケ	モドリ	2 3 5	起	○	○	○	○
644	キリヒラク	切り開く	キリ	ヒラク	2 3 5	起	○	○	○	○
645	クイノコス	食い残す	クイ	ノコシ	2 3 5	起	○	○	○	○
646	クイヤブル	食い破る	クイ	ヤブル	2 3 5	起	○	○	○	○
647	セリオトス	競り落とす	セリ	オトシ	2 3 5	起	○	○	○	○
648	トリーヌケル	通り抜ける	トリー	ヌケ	3 2 5	平	○	○	○	○
649	トキホグス	解きほぐす	トキ	ホグシ	2 3 5	起	○	○	○	○
650	ナリサガル	成り下がる	ナリ	サガリ	2 3 5	起	○	○	○	○

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

651	ノシアガル	伸し上がる	ノシ	アガリ	2 3 5	平	◎◎◎◎
652	ノメリコム	のめり込む	ノメリ	コミ	3 2 5	起	●◎◎◎
653	ハネカエル	跳ね返る	ハネ	カエリ	2 3 5	起	◎◎◎◎
654	ハライコム	払い込む	ハライ	コミ	3 2 5	起	◎◎◎◎
655	フキオロス	吹き下ろす	フキ	オロシ	2 3 5	起	◎◎◎◎
656	ホメタタエル	誉め称える	ホメ	タタエ	2 3 5	平起	◎◎◎◎
657	ホメチギル	誉め称える	ホメ	チギリ	2 3 5	起	◎◎◎◎
658	ホリオコス	掘り起こす	ホリ	オコシ	2 3 5	起	◎◎◎◎
659	メシカカエル	申し抱える	メシ	カカエ	2 3 5	平	◎◎◎◎
660	モーシイレ	申し入れる	モーシ	イレ	3 2 5	平	◎◎◎◎
661	ヨミナオス	読み直す	ヨミ	ナオシ	2 3 5	起	◎◎◎◎
662	アルキツズケル	歩き続ける	アルキ	ツズケ	3 3 6	平	◎◎◎◎
663	イキナガラエル	生き長らえる	イキ	ナガラ	2 4 6	起	◎◎◎◎
664	カキアラタメル	書き改める	カキ	アラタメ	2 4 6	起	◎◎◎◎
665	テラシアワセル	照らし合わせる	テラシ	アワセ	3 3 6	起	◎◎◎◎
666	トリーカカル	通り掛かる	トリー	カカリ	3 3 6	起	◎◎◎◎
667	トリチラカス	取り散らかす	トリ	チラカシ	2 4 6	平	◎◎◎◎
668	イアテル	射当てる	イア	テ	1 2 3	平	◎◎◎◎
669	ケアゲル	蹴上げる	ケ	アゲ	1 2 3	平	◎◎◎◎
670	ハイデル	這い出る	ハイ	デ	2 1 3	起	◎◎◎◎
671	クミフセル	組み伏せる	クミ	フセ	2 2 4	起	◎◎◎◎
672	スレアウ	擦れ合う	スレ	アイ	2 2 4	起	◎◎◎◎
673	タエイル	絶え入る	タエ	イリ	2 2 4	平	◎◎◎◎
674	タベアキル	食べ飽きる	タベ	アキ	2 2 4	起	◎◎◎◎
675	ハギトル	剥ぎ取る	ハギ	トリ	2 2 4	起	◎◎◎◎
676	ヒアガル	干上がる	ヒ	アガリ	1 3 4	平	◎◎◎◎
677	フキカケル	吹き掛ける	フキ	カケ	2 2 4	起	◎◎◎◎
678	フキケス	吹き消す	フキ	ケシ	2 2 4	平	◎◎◎◎
679	フリヤム	降り止む	フリ	ヤム	2 2 4	平	◎◎◎◎
680	ホエタテル	吠え立てる	ホエ	タテ	2 2 4	起	◎◎◎◎
681	ホメアウ	ほめ合う	ホメ	アイ	2 2 4	起	◎◎◎◎
682	ホリダス	掘り出す	ホリ	ダシ	2 2 4	起	◎◎◎◎
683	カラミアウ	絡み合う	カラミ	アイ	3 2 5	起	◎◎◎◎
684	シバリアゲル	縛り上げる	シバリ	アゲ	3 2 5	平	◎◎◎◎
685	スベリコム	滑り込む	スベリ	コミ	3 2 5	起	◎◎◎◎
686	セメノボル	攻め上ぼる	セメ	ノボリ	2 3 5	平	◎◎◎◎
687	タチモドル	立ち戻る	タチ	モドリ	2 3 5	起	◎◎◎◎
688	ツキマトウ	付き纏う	ツキ	マトイ	2 3 5	起平	◎◎◎◎
689	ナガシコム	流し込む	ナガシ	コミ	3 2 5	起	◎◎◎◎
690	ハシリヌケル	走り抜ける	ハシリ	ヌケ	3 2 5	平	◎◎◎◎
691	フキトバス	吹き飛ばす	フキ	トバシ	2 3 5	平	◎◎◎◎
692	マチカマエル	待ち構える	マチ	カマエ	2 3 5	起	◎◎◎◎
693	ヨミナガス	読み流す	ヨミ	ナガシ	2 3 5	起	◎◎◎◎
694	カンガエコム	考え込む	カンガエ	コミ	4 2 6	起	◎◎◎◎
695	モーシアワセル	申し合わせる	モーシ	アワセ	3 3 6	起	◎◎◎◎
696	フキダス	噴き出す(ふくと)	フキ	ダシ	2 2 4	起	◎◎◎◎
697	タスケアウ	助け合う	タスケ	アイ	3 2 5	起	◎◎◎◎
698	タベノコス	食べ残す	タベ	ノコシ	2 3 5	起	◎◎◎◎
699	ヒネリダス	捻り出す	ヒネリ	ダシ	3 2 5	起	◎◎◎◎
700	ヨミトース	読み通す	ヨミ	トース	2 3 5	起	◎◎◎◎

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

701	ヒビキワタル	響き渡る	ヒビキ	ワタリ	3 3 6	平	○	○	○	○
702	クイイル	食い入る	クイ	イリ	2 2 4	平	○	○	○	○
703	ニゲウセル	逃げ失せる	ニゲ	ウセ	2 2 4	起平	○	○	○	○
704	サシセマル	差し迫る	サシ	セマリ	2 3 5	起	○	○	○	○
705	エリワケル	選り分ける	エリ	ワケ	2 2 4	起	○	○	○	○
706	キカカル	来かかる	キ	カカリ	1 3 4	起	○	○	○	●
707	ツキハテル	尽き果てる	ツキ	ハテ	2 2 4	起	○	○	○	○
708	アリアマル	有り余る	アリ	アマリ	2 3 5	起	○	○	○	●
709	ウツリユク	移り行く	ウツリ	ユキ	3 2 5	平	○	○	○	○
710	オボシメス	思し召す	オボシ	メシ	3 2 5	起	○	○	○	○
711	カツギコム	担ぎ込む	カツギ	コミ	3 2 5	起	○	○	○	○
712	カワキキル	乾き切る	カワキ	キリ	3 2 5	起	○	○	○	○
713	キリソロエル	切り揃える	キリ	ソロエリ	2 3 5	起	○	○	○	○
714	ショゲカエル	しょげ返る	ショゲ	カエリ	2 3 5	起	○	○	○	○
715	ナリスマス	成り済ます	ナリ	スマシ	2 3 5	起	○	○	○	○
716	ハエカワル	生え変わる	ハエ	カワリ	2 3 5	平	○	○	○	○
717	ハナシアウ	話し合う	ハナシ	アイ	3 2 5	起	○	○	○	○
718	ハヤシタテル	嘩し立てる	ハヤシ	タテ	3 2 5	起	○	○	○	○
719	ハライノケル	払い除ける	ハライ	ノケ	3 2 5	平	○	○	○	○
720	ブチコワス	ぶち壊す	ブチ	コワシ	2 3 5	起	○	○	○	○
721	カンガエダス	考え出す	カンガエ	ダシ	4 2 6	起	○	○	○	○
722	トーリアワセル	通り合わせる	トーリ	アワセ	3 3 6	起	○	○	○	○
723	ミアウ	見合う	ミ	アイ	1 2 3	起	○	○	○	○
724	ミイル	見入る	ミ	イリ	1 2 3	平	○	○	○	○
725	ウチスギル	打ち過ぎる	ウチ	スギ	2 2 4	起	○	○	○	○
726	モーシデル	申し出る	モーシ	デ	3 1 4	起	○	○	○	○
727	ヨリワケル	選り分ける	ヨリ	ワケ	2 2 4	起	○	○	○	○
728	イタメツケル	痛め付ける	イタメ	ツケ	3 2 5	起	○	○	○	○
729	ウチオロス	打ち下ろす	ウチ	オロシ	2 3 5	起	○	○	○	○
730	ウチクダク	打ち砕く	ウチ	クダキ	2 3 5	起	○	○	○	○
731	カゾエアゲル	数え上げる	カゾエ	アゲ	3 2 5	平	○	○	○	○
732	カゾエタテル	数え立てる	カゾエ	タテ	3 2 5	起	○	○	○	○
733	クイシバル	食いしばる	クイ	シバリ	2 3 5	起	○	○	○	○
734	クリアワセル	繰り合わせる	クリ	アワセ	2 3 5	起	○	○	○	○
735	シャクリアゲル	しゃくり上げる	シャクリ	アゲ	3 2 5	平	○	○	○	○
736	ダシシブル	出し渋る	ダシ	シブリ	2 3 5	起	○	○	○	○
737	タスケダス	助け出す	タスケ	ダシ	3 2 5	起	○	○	○	○
738	タタキツケル	叩き付ける	タタキ	ツケ	3 2 5	起	○	○	○	○
739	ツクリアゲル	作り上げる	ツクリ	アゲ	3 2 5	平	○	○	○	○
740	ドナリコム	どなり込む	ドナリ	コミ	3 2 5	起	○	○	○	○
741	ドナリツケル	どなりつける	ドナリ	ツケ	3 2 5	起	○	○	○	○
742	トリサバク	取り捌く	トリ	サバキ	2 3 5	起	○	○	○	○
743	ニラミアウ	睨み合う	ニラミ	アイ	3 2 5	起	○	○	○	○
744	ハイアガル	這い上がる	ハイ	アガリ	2 3 5	平	○	○	○	○
745	ハイリコム	入り込む	ハイリ	コミ	3 2 5	起	○	○	○	○
746	フキマククル	吹き捲る	フキ	マククル	2 3 5	平	○	○	○	○
747	フテクサレル	ふてくされる	フテ	クサレ	2 3 5	起	○	○	○	○
748	ウチホロボス	打ち滅ぼす	ウチ	ホロボシ	2 4 6	起	○	○	○	○
749	オモイアワセル	思い合わせる	オモイ	アワセ	3 3 6	起	○	○	○	○
750	オモイノコス	思い残す	オモイ	ノコシ	3 3 6	起	○	○	○	○

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

751	カンガエツク	考え付く	カンガエ	ツキ	4 2 6	起	◎	◎	◎	◎
752	トリツクロウ	取り繕う	トリ	ツクロイ	2 4 6	起	◎	◎	◎	◎
753	ミヤル	見遣る	ミ	ヤリ	1 2 3	平	○	◎	◎	◎
754	スリアゲル	刷り上げる	スリ	アゲ	2 2 4	平	◎	◎	◎	◎
755	トドケデル	届け出る	トドケ	デ	3 1 4	起	○	◎	◎	◎
756	ウチタオス	打ち倒す	ウチ	タオシ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
757	ウチヤブル	打ち破る	ウチ	ヤブリ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
758	キタエアゲル	鍛え上げる	キタエ	アゲ	3 2 5	平	◎	◎	◎	◎
759	キリカカル	切り掛かる	キリ	カカリ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
760	サシヒカエル	差し控える	サシ	ヒカエ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
761	シボリアゲル	絞り上げる	シボリ	アゲ	3 2 5	平	◎	◎	◎	◎
762	ノビアガル	伸び上がる	ノビ	アガリ	2 3 5	平	◎	◎	◎	◎
763	ハナシカケル	話し掛ける	ハナシ	カケ	3 2 5	起	○	◎	◎	◎
764	フキコボレル	吹き零れる	フキ	コボレ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
765	モーシツケル	申し付ける	モーシ	ツケ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
766	オモイカエス	思い返す	オモイ	カエシ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎
767	カキソコナウ	書き損なう	カキ	ソコナイ	2 4 6	起	◎	◎	◎	◎
768	ツカミカカル	掴み掛かる	ツカミ	カカリシ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎
769	ツクリナオス	作り直す	ツクリ	ナオシ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎
770	ツツミカクス	包み隠す	ツツミ	カクシ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎
771	オモイトドマル	思いとどまる	オモイ	トドマリ	3 4 7	起	○	◎	◎	◎
772	ネリアゲル	練り上げる	ネリ	アゲ	2 2 4	平	○	◎	◎	◎
773	イタミイル	痛み入る	イタミ	イリ	3 2 5	平	◎	◎	◎	◎
774	エガキダス	描き出す	エガキ	ダシ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
775	オサエツケル	押さえつける	オサエ	ツケ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
776	サワギダス	騒ぎ出す	サワギ	ダシ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
777	ナグリツケル	殴り付ける	ナグリ	ツケ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
778	ニラミツケル	睨み付ける	ニラミ	ツケ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
779	ブチノメス	ぶちのめす	ブチ	ノメシ	2 3 5	起	○	◎	◎	◎
780	ワカチアウス	別ち合う	ワカチ	アイ	3 2 5	起	○	◎	◎	◎
781	ヒネリマワス	ひねり回す	ヒネリ	マワシ	3 3 6	平	◎	◎	◎	◎
782	テリハエル	照り映える	テリ	ハエ	2 2 4	起	○	◎	◎	◎
783	アズケイレル	預け入れる	アズケ	イレ	3 2 5	平	◎	◎	◎	◎
784	ウゴキダス	動き出す	ウゴキ	ダシ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
785	エラビダス	選り出す	エラビ	ダシ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
786	オモイキル	思い切る	オモイ	キリ	3 2 5	起	○	◎	◎	◎
787	カラメトル	掬め捕る	カラメ	トリ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
788	コマリキル	困り切る	コマリ	キリ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
789	サシシメス	差し示す	サシ	シメシ	2 3 5	平	起	◎	◎	◎
790	サシマネク	差し招く	サシ	マネキ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
791	スベリダス	滑り出す	スベリ	ダシ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
792	ナガレコム	流れ込む	ナガレ	コミ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
793	ナガレダス	流れ出す	ナガレ	ダシ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
794	ナギハラウ	薙ぎ払う	ナギ	ハライ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
795	ノシカカル	伸し掛かる	ノシ	カカリ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎
796	マギレコム	紛れ込む	マギレ	コミ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
797	モーシウケル	申し受ける	モーシ	ウケ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎
798	オモイオコス	思い起こす	オモイ	オコシ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎
799	オモイソゴス	思い過ぐす	オモイ	ソゴシ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎
800	コスリアワセル	こすり合わせる	コスリ	アワセ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎

:X:y:A:b:C:d:E:F:g:H:l:J:K:l:m:N:o:P:q:r:s:平:起:

801	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	2	18
802	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	2	18
803			●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	2	19	
804	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	2	19	
805	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	2	19	
806	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	●	●	○	●	●	○	2	19		
807			●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	2	19		
808	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	2	19			
809	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	2	19			
810	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	2	19				
811	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	2	19					
812	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	2	19					
813			●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	○	2	19							
814	●	●									○	●	○	●	○	●	○	2	19						
815											○	●	○	●	○	●	○	2	19						
816											○	●	○	●	○	●	○	2	19						
817											○	●	○	●	○	2	19								
818	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	○	2	19									
819	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	2	19												
820	●	○	●	●	●	●	○	●	○	●	○	2	19												
821			●	●	●	●	○	●	○	●	○	2	19												
822			●	●	●	●	○	●	○	2	19														
823	●	●	●	●	●	○	●	○	2	19															
824	○	○	●	●	●	○	●	○	2	19															
825	●	○	●	●	●	○	●	○	2	19															
826			●	●	●	●	○	●	○	2	19														
827			●	●	●	○	●	○	2	19															
828	●	○	●	●	●	○	●	○	2	19															
829	●	●	●	●	○	●	○	2	19																
830			●	●	●	○	●	○	2	19															
831	●	●	○	●	●	○	2	18																	
832	●	○	●	●	○	2	18																		
833	●	○	●	○	2	18																			
834	●	○	2	18																					
835	●	○	2	18																					
836	●	○	2	18																					
837	●	○	2	18																					
838	●	○	2	18																					
839			○	2	18																				
840	●	○	2	18																					
841			○	2	18																				
842	●	○	2	19																					
843	●	○	2	19																					
844	●	○	2	19																					
845			○	2	19																				
846			○	2	19																				
847	●	○	2	19																					
848			○	2	19																				
849			○	2	19																				
850	●	○	2	19																					

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

801	タズネアワセル	尋ね合わせる	タズネ	アワセ	3 3 6	起	◎	◎											
802	トリカタズケル	取り片づける	トリ	カタズケ	2 4 6	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
803	イトメル	射止める	イ	トメ	1 2 3	平	●	◎	◎	◎	◎	◎							
804	ハネオキル	跳ね起きる	ハネ	オキ	2 2 4	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
805	ハミダス	食み出す	ハミ	ダシ	2 2 4	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
806	ウチコワス	打ち壊す	ウチ	コワシ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
807	ウバイアウ	奪い合う	ウバイ	アイ	3 2 5	起		◎	◎	◎	◎	◎							●
808	カキクモル	掻き曇る	カキ	クモリ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
809	キズキアゲル	築き上げる	キズキ	アゲ	3 2 5	平	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
810	キリマク	切り捲る	キリ	マクリ	2 3 5	平	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
811	コマリヌク	困り抜く	コマリ	ヌキ	3 2 5	平	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
812	シボリダス	絞り出す	シボリ	ダシ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
813	スリアガル	刷り上げる	スリ	アガリ	2 3 5	平		◎	◎	◎	◎	◎							
814	ソダテアゲル	掃き上げる	ソダテ	アゲ	3 2 5	平	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
815	タグリヨセル	手繰り寄せる	タグリ	ヨセ	3 2 5	平		◎	◎	◎	◎	◎							
816	ツカレキル	疲れ切る	ツカレ	キリ	3 2 5	起		◎	◎	◎	◎	◎							
817	トーリスギル	通り過ぎる	トーリ	スギ	3 2 5	起		◎	◎	◎	◎	◎							
818	ナグリアウ	殴り合う	ナグリ	アイ	3 2 5	起	◎												
819	ニゲマドウ	逃げ惑う	ニゲ	マドイ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
820	ネリアルク	練り歩く	ネリ	アルキ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
821	ハイマワル	回り回る	ハイ	マワリ	2 3 5	平		◎	◎	◎	◎	◎							
822	ハキキヨメル	掃き清める	ハキ	キヨメ	2 3 5	起		◎	◎	◎	◎	◎							●
823	フテクサル	ふてくさる	フテ	クサリ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
824	モーシカネル	申し兼ねる	モーシ	カネ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
825	モーシタテル	申し立てる	モーシ	タテ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
826	モチアルク	持ち歩く	モチ	アルキ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
827	ヨワリキル	弱り切る	ヨワリ	キリ	3 2 5	起		◎	◎	◎	◎	◎							
828	オモイアマル	思い余る	オモイ	アマリ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							●
829	ハライキヨメル	祓い浄める	ハライ	キヨメ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
830	モタレカカル	もたれ掛かる	モタレ	カカリ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
831	デアウ	出合う	デ	アイ	1 2 3	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							●
832	イビリダス	いびり出す	イビリ	ダシ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
833	オモイタツ	思い立つ	オモイ	タチ	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
834	オヨギキル	泳ぎ切る	オヨギ	キリ	3 2 5	起		◎	◎	◎	◎	◎							
835	キリハラウ	切り払う	キリ	ハライ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
836	セメアゴム	攻め倦む	セメ	アグミ	2 3 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
837	ヘタリコム	へたりこむ	ヘタリ	コム	3 2 5	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
838	オガミタオス	拝み倒す	オガミ	タオシ	3 3 6	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
839	オヨギマワル	泳ぎ回る	オヨギ	マワリ	3 3 6	平		◎	◎	◎	◎	◎							
840	ハシリマワル	走り回る	ハシリ	マワリ	3 3 6	平	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
841	ヒッバリマワス	引っ張り回す	ヒッバリ	マワシ	4 3 7	平		◎	◎	◎	◎	◎							●
842	デムク	出向く	デ	ムキ	1 2 3	平	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
843	ハミデル	食み出る	ハミ	デル	2 1 3	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
844	ミヌク	見抜く	ミ	ヌキ	1 2 3	平	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
845	イスクメル	射すくめる	イ	スクメ	1 3 4	平	起	◎	◎	◎	◎	◎							
846	ナガレデル	流れ出る	ナガレ	デル	3 1 4	起		◎	◎	◎	◎	◎							
847	ニジミデル	滲み出る	ニジミ	デル	3 1 4	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
848	フキアゲル	吹き上げる	フキ	アゲ	2 2 4	平	起	◎	◎	◎	◎	◎							
849	モリタテル	守り立てる	モリ	タテ	2 2 4	起	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
850	アオリタテル	煽り立てる	アオリ	タテ	3 2 5	起	◎												

: 語形 : 表記 : 前部成素:後部成素: : : 後部:新:N:明:全:

851	アユミ	アウ	歩み合	う	アユミ	アイ	3	2	5	起	○	○	○
852	ウチ	ハラウ	打ち払	う	ウチ	ハライ	2	3	5	起	○	○	○
853	クズレ	オチル	崩れ落	ちる	クズレ	オチ	3	2	5	起	○	○	○
854	コスリ	ツケル	擦り付	ける	コスリ	ツケ	3	2	5	起	●	○	○
855	コボレ	オチル	零れ落	ちる	コボレ	オチ	3	2	5	起	○	○	○
856	サシ	ハサム	差し挟	む	サシ	ハサミ	2	3	5	起	○	○	○
857	サワギ	タテル	騒ぎ立	てる	サワギ	タテ	3	2	5	起	●	○	○
858	シバリ	ツケル	縛り付	ける	シバリ	ツケ	3	2	5	起	●	○	○
859	ズリア	ガル	ずり上	がる	ズリ	アガリ	2	3	5	平	○	○	○
860	ズリ	サガム	ずり下	がる	ズリ	サガリ	2	3	5	起	○	○	○
861	タグリ	コム	手繰り	込む	タグリ	コミ	3	2	5	起	●	○	○
862	タケリ	タツ	哮り立	つ	タケリ	タチ	3	2	5	起	●	○	○
863	タタキ	ダス	叩き出	す	タタキ	ダシ	3	2	5	起	○	○	○
864	タチ	イタル	立ち至	る	タチ	イタリ	2	3	5	平起	○	○	○
865	ツカレ	ハテル	疲れ果	てる	ツカレ	ハテ	3	2	5	起	○	○	○
866	ドヤシ	ツケル	どやし	つける	ドヤシ	ツケ	3	2	5	起	○	○	○
867	ナスリ	ツケル	擦り付	ける	ナスリ	ツケ	3	2	5	起	○	○	○
868	フシ	オガム	伏し拜	む	フシ	オガミ	2	3	5	起	○	○	○
869	メカシ	コム	めかし	込む	メカシ	コミ	3	2	5	起	○	○	○
870	タズネ	マワル	尋ね回	る	タズネ	マワリ	3	3	6	平	○	○	○
871	ナグリ	トバ	殴り飛	ばす	ナグリ	トバシ	3	3	6	平	○	○	○
872	ヒッパ	リコム	引っ張	り込む	ヒッパ	リコム	4	2	6	起	○	○	○
873	マチ	クタビ	待ちく	たびれる	マチ	クタビ	2	4	6	起	○	○	○
874	フンゾ	リカエ	踏ん反	り返る	フンゾ	リカエ	4	3	7	起	○	○	○
875	カキ	クドク	掻きく	どく	カキ	クドキ	2	3	5	起	○	○	○
876	キオイ	タツ	気負い	立つ	キオイ	タチ	3	2	5	起	○	○	○
877	スベリ	オチル	滑り落	ちる	スベリ	オチ	3	2	5	起	○	○	○
878	ソビエ	タツ	聳え立	つ	ソビエ	タチ	3	2	5	起	○	○	○
879	タドリ	ツク	辿り着	く	タドリ	ツキ	3	2	5	起	○	○	○
880	フリ	カカル	降りか	かる	フリ	カカリ	2	3	5	起	○	○	○
881	ヨワリ	ハテル	弱り果	てる	ヨワリ	ハテ	3	2	5	起	○	○	○
882	ウバイ	カエス	奪い返	す	ウバイ	カエシ	3	3	6	起	○	○	○
883	キワメ	ツクス	極め尽	くす	キワメ	ツクシ	3	3	6	起	○	○	○
884	タタキ	コワス	壊き壊	す	タタキ	コワシ	3	3	6	起	○	○	○
885	タタキ	ノメス	叩きの	めす	タタキ	ノメシ	3	3	6	起	○	○	○
886	ハイ	ツクバ	這いつ	くばう	ハイ	ツクバ	2	4	6	起	○	○	○
887	ヒッパ	リダス	引っ張	り出す	ヒッパ	リダシ	4	2	6	起	○	○	○
888	シズマ	リカエ	静まり	返る	シズマ	リカエ	4	3	7	起	○	○	○

